

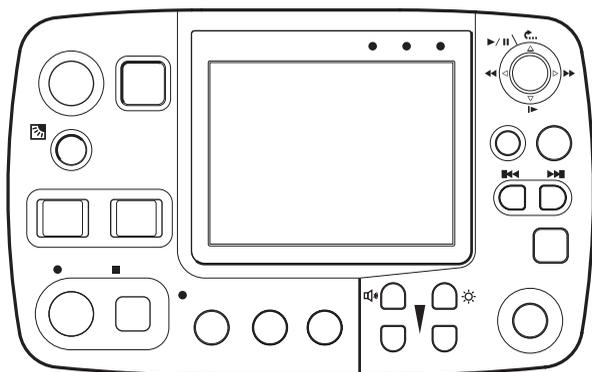
Panasonic®

取扱説明書

コントロールパネル



品番 AG-**RCP30**



このたびは、コントロールパネルをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」(3～7ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。

お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

■保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

製造番号は、品質管理上重要なものです。

製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

もくじ

ご使用の前に

安全上のご注意	3	各部の名称と機能	11
特長／付属品	8	フロントパネル	11
本書について	9	リアパネル	13
ご使用になる前に	9	接続	14
取り扱い上のお願	10		

操作方法

起動する／終了する	15	メモリーカードレコーダーの 状態を表示する	23
メニューの基本操作	16	記録する	25
使用者データを設定する／削除する	18	記録の開始と停止	25
ボタンをロックする／ ロックを解除する	20	試し撮りをする	26
ライブ映像を見る	21	間けつ記録の開始と停止	26
カメラを選択する	21	再生する	27
ズームする	21	再生する	27
逆光の映像を見やすくする	21	再生方法を切り替える	27
暗い映像を見やすくする	21	ブックマークを設定する	28
AUDIO2の入力音声を記録しない	21	ファイルを選択して再生する	29
液晶パネルの表示を消す	21	AUDIO1,2再生音のON/OFFを設定する	29
映像の明るさを調整する	22	メモリーカードレコーダーの 状態を表示する	29
映像のフォーカスを調整する	22	ファイルを修復する	31
記録中の [REC] ランプを消す	22	製品情報を表示する	32
AUDIO2の入力を選択する	23	メモリーカードレコーダーを 再起動する	32
音声をチェックする	23		

管理者が行う操作

管理者設定	33	カメラ (Camera)	39
記録と再生 (Rec/Play)	34	管理モード (Management Mode)	40
プログラム記録 (Programed Rec)	36	レーダーとGPS (Radar/GPS)	40
日付と時刻 (Date/Time)	37	ファイル管理 (File Management)	42
登録 (Registration)	37	自動メンテナンス (Auto Maintenance)	43
トリガー (Trigger)	38	サービス (Service)	45
画面表示 (OSD)	38		

メニュー画面

メニュー画面一覧	46
----------	----

必要なときに

ランプ表示とメモリーカード レコーダーの状態	54	ステータス表示	60
修理を依頼される前に	55	保証とアフターサービス	61
エラーメッセージ	57	定格	62

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は絵表示の一例です)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

車載でご使用の場合

警告

不安定な場所に置かない



落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

乗り物を運転しながら使わない



事故の誘発につながります。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない



ショートや発熱により、火災・故障の原因になります。

- 機器の上や近くに液体の入った花びんなどの容器や金属物を置かないでください。

安全上のご注意 (つづき)

警告

故障や異常な状態のまま 使用しない



万一、故障（映像が映らない、音が出ないなど）や異常（異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がするなど）が起きた場合は、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。
そのまま使用を続けると、火災や事故の原因になります。

接続コードが破損するようなことはしない（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない）



傷んだまま使用すると、火災・ショートの原因になります。

- コードの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。

指定外の製品と接続しない



火災や、事故を起こす原因になります。

分解や改造をしない



分解禁止

火災の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。

- 内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。

安全上のご注意 (つづき)

⚠️ 注意

本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない



- 落下したり倒れたりして壊れ、けがの原因になります。
- 重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になります。

落下したり動かないように、確実に固定する



確実に固定しないと、事故の原因になります。

配線・取り付け／取り外しは、専門技術者に依頼する



配線・取り付け／取り外しには、専門技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。

安全上のご注意 (つづき)

車載以外でご使用の場合

警告

不安定な場所に置かない



落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

指定外の製品と接続しない



火災や、事故を起こす原因になります。

分解や改造をしない



分解禁止

火災の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。

- 内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。

水場で使用しない



水場
使用禁止

火災の原因になります。

- 雨や水滴などがかからない場所でご使用ください。

接続コードが破損するようなことはしない（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない）



傷んだまま使用すると、火災・ショートの原因になります。

- コードの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない



ショートや発熱により、火災・故障の原因になります。

- 機器の上や近くに液体の入った花びんなどの容器や金属物を置かないでください。

安全上のご注意 (つづき)

故障や異常な状態のまま使用しない



万一、故障（映像が映らない、音が出ないなど）や異常（異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がするなど）が起きた場合は、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。
そのまま使用を続けると、火災や事故の原因になります。

⚠️ 注意

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない



電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災の原因になることがあります。
たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。

本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない



- 落下したり倒れたりして壊れ、けがの原因になります。
- 重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になります。

配線・取り付け／取り外しは、専門技術者に依頼する



配線・取り付け／取り外しには、専門技術と経験が必要です。
安全のため、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。

特長

本機は、メモリーカードレコーダーに接続して使用するコントロールパネルです。

- 本機のボタンにより、メモリーカードレコーダーやカラーカメラを操作することができます。
- カラーカメラからのライブ映像やメモリーカードレコーダーの再生映像を液晶パネルに表示します。
- ライブ音声や再生した音声をスピーカーにより確認できます。

付属品

コントロールパネルケーブル (7.5 m) 1

・万一何らかの不具合により、記録されなかった場合の内容の補償、記録や設定されたデータの損失、ならびにこれらに関するその他の直接・間接の損害につきましては、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

本書について

本書では本機の操作方法を以下の凡例に従って説明しています。

■用語の定義

使用者：本機を操作するすべての人。
管理者：データの収集や管理などメモリーカードレコーダーの管理権限を持っている人。

■「操作方法」

使用者が操作できる項目を説明しています。

■「管理者が行う操作」

管理者のみが操作できる項目を説明しています。

主な内容

- ・メモリーカードレコーダーの工場出荷設定を使用環境に沿った設定に変更。
- ・記録したデータの収集と管理。

■「メニュー画面」

本機の液晶パネルに表示される操作メニューを一覧で説明しています。

■「操作方法」で記載しているタイトルについて

本機のボタン操作とメニューを液晶パネルに表示してから行う操作を区別して記載しています。

例) 本機のボタン操作の場合：

◎カメラを選択する

メニューを表示してから行う操作の場合：

■映像の明るさを調整する

ご使用になる前に

- ・本機は、指定の別売品と組み合わせでご使用ください。
- ・使用者データをメモリーカードレコーダーに設定しておく、記録後にだれが記録したのかを調べることができます。(18ページ参照)

取り扱い上のお願い

■取り付けと接続について

お買い上げの販売店にご相談ください。

■使用方法について

- 本機を移動させる場合は、コントロールパネルケーブルを外してください。
- メモリーカードレコーダーが記録中または再生中、コントロールパネルケーブルを外さないでください。メモリーカードレコーダーの設定ファイルやP2カード上の管理データを破損することがあります。

■液晶パネルについて

- ダッシュボードの上など、異常に高温になったり、低温になったりするところには置かないでください。液晶パネルが化学変化を起こし、故障の原因となります。
- 低温になると、映像が暗くなったり、表示されるのが遅くなったりすることがあります。また、映像の動きが遅くなったり画質が劣化したりすることがありますが故障ではありません。
- 画面に赤い点、青い点または緑の点があるのは、液晶パネル特有の現象で故障ではありません。液晶パネルは非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯するものがありますので、ご了承ください。
- 冷暖房を入れた直後など、車内の急激な温度変化のために、水蒸気で液晶パネルの内側がくもったり、つゆ（水滴）が生じて、正しく動作しないことがあります。本機を約1時間放置してからご使用ください。

■お手入れについて

お手入れの際は、本機の電源がOFFの状態で行ってください。（15ページ参照）

- お手入れの際は、ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤を使わないでください。溶剤を使うと外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがあります。
- 本機は、柔らかい、乾いた布でほこりをふいてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を水でうすめ、その液にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取ってください。そのあと、乾いた布でからぶきをしてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■定期メンテナンス（保守・点検）

定期的なメンテナンス（保守・点検）は、お客様が安心して機器をご使用いただくために、定期的に必要なメンテナンスを行い、機器の機能を常に良好な状態に維持するためのものです。

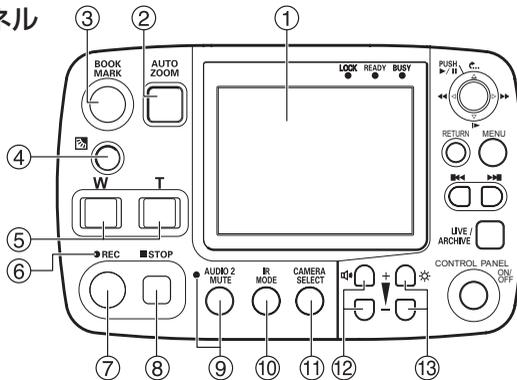
部品の劣化によるトラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能の維持のために、定期メンテナンスのご契約を推奨いたします。

なお、メンテナンス実施の周期、費用につきましては、機器のご使用状況、時間、環境などにより変化します。定期メンテナンス（有料）についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

メンテナンス（消耗）部品： LCDバックライト
メンテナンス（交換）時間： 10,000時間以上

各部の名称と機能

フロントパネル



① 液晶パネル

映像や操作メニューを表示します。

② AUTO ZOOMボタン*1, *2

ズームイン、一定時間停止、ズームアウトの動作を自動的に行います。ズーム倍率とその停止時間を設定することができます。(21ページ参照)

③ BOOK MARKボタン*2

記録中および再生中にブックマークを設定できます。設定後、画面にブックマークのアイコンを1～2秒間表示します。(25, 28ページ参照)

④ 逆光補正ボタン (☒)*1, *2

逆光補正を行います。ボタンを押すごとにONとOFFが切り替わります。(21ページ参照)

⑤ ズームボタン*1, *2

ズームアウト (Wボタン) とズームイン (Tボタン) の動作を行います。(21ページ参照)

⑥ RECランプ

記録中に点灯・点滅します。(54ページ参照)

⑦ RECボタン*2

P2カードに映像・音声の記録を開始します。(25ページ参照)

⑧ STOPボタン (■)*2

記録を停止します。(25ページ参照)

⑨ AUDIO2 MUTEボタン/ランプ

AUDIO2の記録/解除を切り替えます。このボタンを押すとランプが点灯/消灯します。ランプ点灯中はAUDIO2の記録は行われません。(21ページ参照)

⑩ IR MODEボタン*1

IRモードを切り替えます。
 AUTO: 明るさに応じてIRモードを自動的に切り替えます。
 ON : IRモードをONします。
 OFF : IRモードをOFFします。

⑪ CAMERA SELECTボタン

カメラを選択します。
 CAMERA1入力: 別売のカラーカメラ
 CAMERA2入力: 市販のカメラ
 (21ページ参照)

⑫ 音量調節ボタン (🔊)

本機のスピーカーの音量を調節します。

⑬ 明るさ調節ボタン (☀)

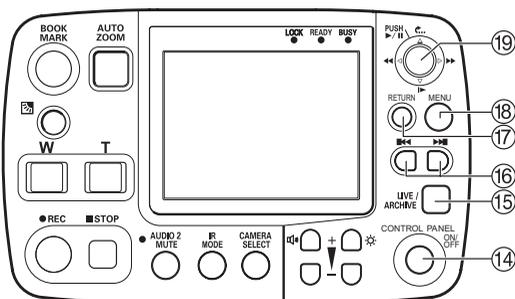
液晶パネルの明るさを調節します。

*1 [CAMERA2] 端子に接続された市販カメラを制御することはできません。

*2 [CONTROL PANEL ON/OFF] ボタンがONのとき照明が点灯します。

各部の名称と機能 (つづき)

フロントパネル



⑭ **CONTROL PANEL ON/OFFボタン**
液晶パネル、ランプの表示、ボタンの操作のオン・オフが、メモリーカードレコーダーの電源がオンのとき可能です。

メモリーカードレコーダーや本機の電源のON/OFFはできません。

(21ページ参照)

⑮ **LIVE/ARCHIVEボタン**

ライブ画面と再生画面を切り替えます。(21, 27ページ参照) 表示画面が“Information”画面、“Archive”画面、“Restore”画面、使用者設定トップ画面、管理者設定トップ画面のときには、このボタンを押すと、ライブ画面に切り替わります。(46～53ページ参照)

⑯ **前スキップボタン (◀◀)**

前スキップ位置へ移動して再生します。(28ページ参照)

次スキップボタン (▶▶)

次スキップ位置へ移動して再生します。(28ページ参照)

⑰ **RETURNボタン**

ひとつ前のメニューや画面に戻ります。(17ページ参照)

⑱ **MENUボタン**

液晶パネルにメニュー画面を表示します。

⑲ **カーソルボタン**

(**[PUSH]**、**△**、**◀**、**▶**)

メニュー操作と再生操作で動作が変わります。

・メニュー操作時

[PUSH]：ボタンの中央部を押して設定値を決定します。

[△,▽,◀,▶]：カーソル移動と設定値を変更します。

・再生操作時

[▶||]：ボタンの中央部を押すごとに再生と一時停止を繰り返します。

[◀...]：再生位置が約7秒前の位置に戻ります。

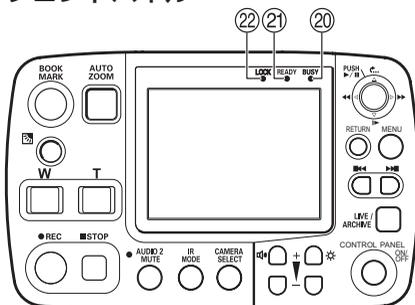
[▶|]：スロー再生になり、押すごとに速度が1/10、1/2に切り替わります。

[◀◀]：巻き戻します。
押すごとに巻き戻し速度が×4、×20、×200に切り替わります。

[▶▶]：早送りします。
押すごとに早送り速度が×4、×20、×200に切り替わります。

各部の名称と機能 (つづき)

フロントパネル



⑳ BUSYランプ

P2カードへのアクセス中（記録・再生など）に点灯・点滅します。（54ページ参照）

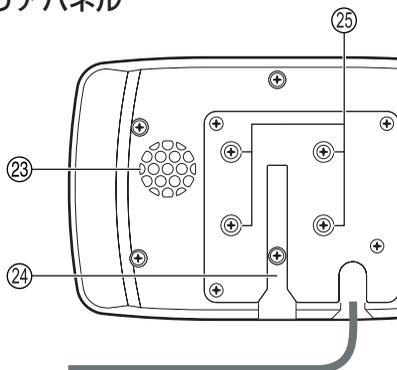
㉑ READYランプ

P2カードへの記録が可能な状態であるか、点灯・点滅・消灯で示します。（54ページ参照）

㉒ LOCKランプ

[REC] ボタン、[MENU] ボタン、[CONTROL PANEL ON/OFF] ボタン、[RETURN] ボタンを除くボタンの操作がロックされた状態であることを示します。

リアパネル



㉓ スピーカー

再生画面のとき：

音声を出力します。ただし、[▶] スロー再生、[◀◀] 巻き戻し、[▶▶] 早送り時は出力されません。

ライブ画面のとき：

通常、音声は出力されません。音声を確認したいときは「音声をチェックする」（23ページ）を参照ください。

㉔ 固定用溝

市販のスタンド金具に取り付けることができます

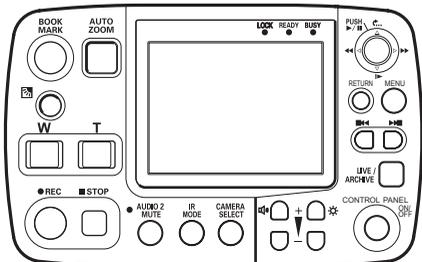
㉕ 固定用ねじ穴

取り付けられているねじを使用して市販の取付金具を取り付けることができます。

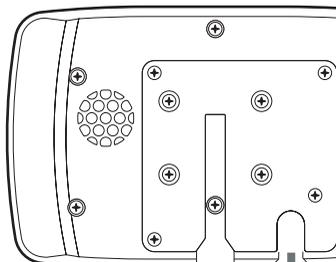
接続

取り付けや接続は、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

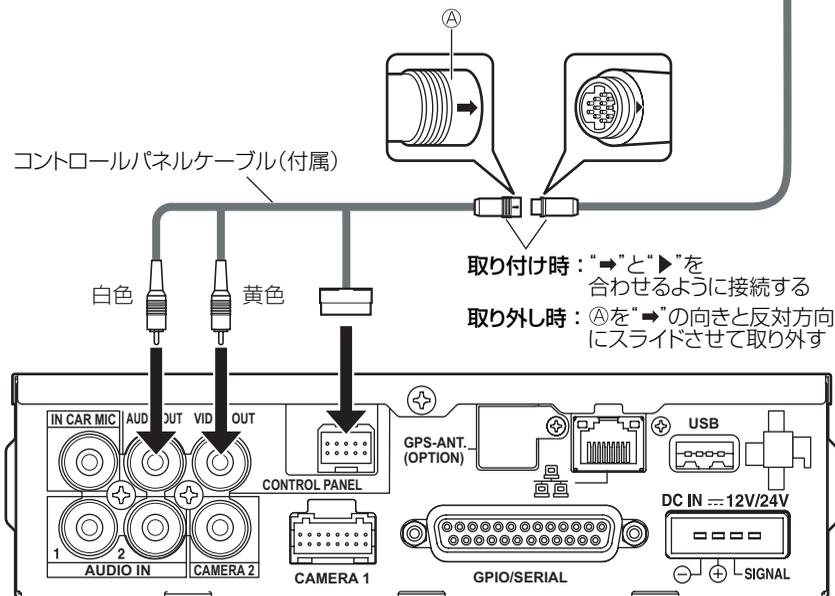
〔フロントパネル〕



〔リアパネル〕



コントロールパネルケーブル(付属)



取り付け時：“→”と“▶”を
合わせるように接続する

取り外し時：Ⓐを“→”の向きと反対方向
にスライドさせて取り外す

メモリーカードレコーダー(別売)

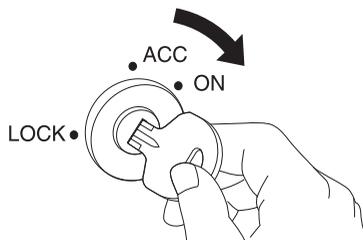
起動する / 終了する

車載でご使用の場合

起動する

車のエンジンスイッチをONまたはACCにする

メモリーカードレコーダーとともに本機の電源も一緒にONされます。



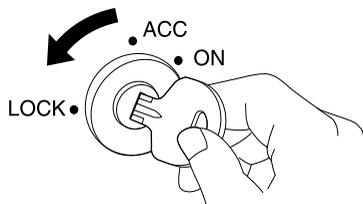
終了する

車のエンジンスイッチをLOCK (OFF) にする

メモリーカードレコーダーとともに本機の電源も一緒にOFFされます。

お知らせ：

- ・ [CONTROL PANEL ON/OFF] ボタンを押しても、電源OFFすることはできません。
- ・ 「電源OFF時間 (PowerOff Time)」 (34ページ参照) を設定すると、車のエンジンスイッチLOCK後もメモリーカードレコーダーおよび本機を最大180分動作させることができます。



車載以外でご使用の場合

起動および終了方法は、お買い上げの販売店にご相談ください。

メニューの基本操作

本機のフロントパネルのボタンに割り当てられていない機能は、液晶パネルにメニューを表示して操作・設定します。

メニュー画面一覧については46～53ページを参照してください。

(管理者のみが操作できるメニューも説明しています。)

操作例：Audio1テストの場合

1. [MENU] ボタンを押す

メニュー画面が表示されます。
項目の右端に三角マークが表示されている場合は、下位メニューがあることを示しています。

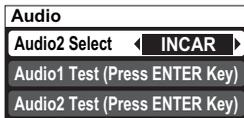


2. カーソルボタンの [Δ,▽] を押して項目を選択する

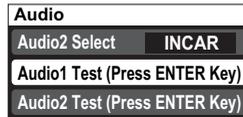


3. カーソルボタンの中央部 [PUSH] または [▷] を押して決定する

選択した項目の詳細が表示されます。



4. [Δ,▽] ボタンで [Audio1 Test] を選択する



5. [PUSH] ボタンを押して決定する

Audio1のテストができます。

■ カーソルボタンの [Δ,▽,◀,▶] を押して設定値の変更を行う

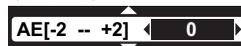
- 設定値の上下に小さな三角マークが表示されている場合、[Δ] または [▽] で設定値の変更が行えます。

(表示例)

Trigger			
GPIO	Detection	OSD	Printable
Trigger1	N	OFF	-
Trigger2	N	OFF	-
Trigger3	N	OFF	-
Trigger4	N	OFF	-
Trigger5	N	OFF	-
Trigger6	N	OFF	-
Trigger7	N	OFF	-
Trigger8	N	OFF	-

- 設定値の左右に小さな三角マークが表示されている場合、[◀] または [▶] で設定値の変更が行えます。

(表示例)



メニューの基本操作 (つづき)

■ 前の画面に戻すには

[RETURN] ボタンを押すと前の画面に戻ります。ただし、“Archive”画面、使用者設定トップ画面、管理者設定トップ画面のときにはメニュー画面が消えます。

■ メニュー画面のつづきについて

メニュー画面表示で項目の上下に小さな三角マークが表示されるときは、項目に続きがあることを示します。

使用者データを設定する／削除する

メモリーカードレコーダーを使用する前に、使用者のIDや氏名などのデータを作成・設定する必要があります。作成方法はメモリーカードレコーダーの取扱説明書を参照してください。

設定方法は「[AUTO]」「[MANUAL]」「[LIST]」の3つのモードがあります。あらかじめどのモードが選択されているのかを管理者に確認してください。(40ページ参照)

AUTOモード

USBメモリーをメモリーカードレコーダーに接続したときもしくは、電源ON後接続が確認されたときに1名または2名の使用者データ（メモリーカードレコーダーの取扱説明書参照）が自動的に読み込まれ、設定されます。

使用者データが入ったUSBメモリーをメモリーカードレコーダーに接続する

[READY] ランプが約1秒間点滅：

正しく読み込まれました。

[BUSY] ランプが約1秒間点滅：

正しく読み込まれませんでした。

一度USBメモリーを外して、再度USBメモリーを接続してください。再度USBメモリーを接続しても [READY] ランプが点滅しない場合には、USBメモリーに使用者データファイルが正しく保存されているか確認してください。

上記処置後、改善されない場合は、USBメモリーを交換してください。

お知らせ：

- 記録中にUSBメモリーが接続されて使用者データが読み込まれた場合、読み込みの前後でファイルが分割されます。
- 使用者データが読み込まれた後、USBメモリーを外すことができます。
- いったん設定された使用者データは、電源を切ったり、モードを変更しても削除されません。

MANUALモード

メニューを液晶パネルに表示し、使用者設定トップ画面から、使用者データを読み込み、設定します。

1. [MENU] ボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2. [△,▽] ボタンで[Setup/Info]を選択し、[PUSH] ボタンで決定する

3. [△,▽] ボタンで[Officer]を選択し、[PUSH] ボタンで決定する

使用者設定トップ画面が表示されます。

4. 使用者データが入ったUSBメモリーをメモリーカードレコーダーに接続する

5. [△,▽] ボタンで[Officer1]を選択する

6. [◀,▶] ボタンで[Load]を選択し、[PUSH] ボタンで決定する

使用者1が設定され、氏名とIDの使用者データが表示されます。

7. 使用者2を設定する場合は使用者2のデータが入ったUSBメモリーに交換する

8. [△,▽] ボタンで[Officer2]を選択する

9. [◀,▶] ボタンで[Load]を選択し、[PUSH] ボタンで決定する

使用者2が設定され、氏名とIDの使用者データが表示されます。

使用者データを設定する／削除する (つづき)

LISTモード

メニューを液晶パネルに表示し、使用者設定トップ画面から、メモリーカードレコーダーにすでに登録されている使用者データを読み出し、設定します。使用者データの登録方法については管理者設定の「使用者データの読み込み」をご覧ください。(37ページ参照)

1. [MENU] ボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2. [△,▽] ボタンで[Setup/Info]を選択し、[PUSH] ボタンで決定する

3. [△,▽] ボタンで[Officer]を選択し、[PUSH] ボタンで決定する

使用者設定トップ画面が表示されます。

4. [△,▽] ボタンで[Officer 1]を選択する

5. [◀,▶] ボタンで[Select]を選択し、[PUSH] ボタンで決定する

メモリーカードレコーダーに登録されている使用者リストが表示されます。

6. [△,▽] ボタンを押して使用者を選択し ([◀,▶] ボタンを押すと前後のページに切り替わる)、[PUSH] ボタンで決定する

使用者 1 が設定された後、使用者設定トップ画面が表示されます。

7. [△,▽] ボタンで[Officer2]を選択する

8. [◀,▶] ボタンで[Select]を選択し、[PUSH] ボタンで決定する

メモリーカードレコーダーに登録されている使用者リストが表示されます。

9. [△,▽] ボタンを押して使用者を選択し ([◀,▶] ボタンを押すと前後のページに切り替わる)、[PUSH] ボタンで決定する

使用者2が設定された後、使用者設定トップ画面が表示されます。

設定したデータを削除する

1. [MENU] ボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2. [△,▽] ボタンで[Setup/Info]を選択し、[PUSH] ボタンで決定する

3. [△,▽] ボタンで[Officer]を選択し、[PUSH] ボタンで決定する

使用者設定トップ画面が表示されます。

4. [△,▽] ボタンで[Officer 1]または[Officer 2]を選択する

5. [◀,▶] ボタンで[Delete]を選択し、[PUSH] ボタンで決定する

手順 4 で選択した使用者データが削除されます。

お知らせ：

「AUTOモード」の場合は、使用者データを削除できません。

ボタンをロックする／ロックを解除する

本機のボタンが、誤って押されても受け付けないようにできます。

ロックする

1. [MENU] ボタンを押す
メニュー画面が表示されます。
2. [△,▽] ボタンで[Setup/Info]を選択し、[PUSH] ボタンで決定する
3. [△,▽] ボタンで[Officer]を選択し、[PUSH] ボタンで決定する
使用者設定トップ画面が表示されます。
4. [△,▽] ボタンで[Operation Key Lock]を選択する
5. [◀,▶] ボタンで“ON”を選択する
[LOCK] ランプが点灯し、[REC] ボタン、[MENU] ボタン、[CONTROL PANEL ON/OFF] ボタン、[RETURN] ボタン、メモリーカードレコーダーとカラーカメラの [REC] ボタンを除くボタンの操作がロックされます。

お知らせ：

- ボタンのロックは、ライブ画面に移動して初めて有効になります。
- 管理者設定にも独立したロック設定があり（40ページ参照）、管理者設定でロックされた場合は、使用者設定でロックを解除できません。
- カラーカメラのズームボタンと照明ボタンはロックできません。

ロックを解除する

1. [MENU] ボタンを押す
メニュー画面が表示されます。
2. [△,▽] ボタンで[Setup/Info]を選択し、[PUSH] ボタンで決定する
3. [△,▽] ボタンで[Officer]を選択し、[PUSH] ボタンで決定する
使用者設定トップ画面が表示されます。
4. [△,▽] ボタンで[Operation Key Lock]を選択する
5. [◀,▶] ボタンで“OFF”を選択する
[LOCK] ランプが消灯し、ボタンのロックが解除されます

ライブ映像を見る

カメラからの出力映像やマイクからの音声の操作を行うことができます。

ライブ映像を表示したいときは、[LIVE/ARCHIVE] ボタンを押してください。

[CAMERA2] 端子に接続された市販カメラを制御することはできません。

◎カメラを選択する

[CAMERA SELECT] ボタンを押す
押すたびに、“CAMERA1”と“CAMERA2”の入力が切り替わります。

CAMERA1：[CAMERA1] 端子に接続のカラーカメラ

CAMERA2：[CAMERA2] 端子に接続の市販カメラ

お知らせ：

“CAMERA2”を選択している場合には、本機で以下の“CAMERA1”の操作を行うことはできません。

- ・映像の明るさを調整する
- ・映像のフォーカスを調整する

◎ズームする

全体の映像を見たい場合は、[W] ボタンを押してズームアウトします。映像の細かい個所を拡大して見たい場合は、[T] ボタンを押してズームインします。

1. [W] ボタンまたは [T] ボタンを押す

押している間、ズームアウトまたはズームインします。

2. 適当な大きさの映像が表示されたらボタンを放す

[AUTO ZOOM] を押すと目標の倍率までズームインし、しばらく停止して広角端までズームアウトします。目標倍率以上にズームインしていた場合は、最初に目標倍率までズームアウトします。

◎逆光の映像を見やすくする

周りが明るくて、見たい個所が暗くなっている場合に、見やすくすることができます。

[IR] ボタンを押す

ボタンを押すたびに“ON”と“OFF”が切り替わります。通常は“OFF”の状態にしてください。

◎暗い映像を見やすくする

暗い映像は赤外モードを使うことで、表示映像をより見やすくすることができます。

[IR MODE] ボタンを押す

 が

表示されます。

ボタンを押すたびに“AUTO”“ON”“OFF”が切り替わります。通常は“AUTO”に設定してください。

お知らせ：

「映像の明るさを調整する」と併用すれば、より明るくすることができます。

◎AUDIO2の入力音声を記録しない

[AUDIO2 MUTE] ボタンを押す

ボタンを押すたびに記録する／記録しないが切り替わります。

お知らせ：

AUDIO1の音声記録の切り替えは、できません。

◎液晶パネルの表示を消す

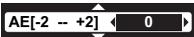
[CONTROL PANEL ON/OFF] ボタンを押す

液晶パネルとランプの表示が消え、各種ボタンの操作ができなくなります。もう一度このボタンを押すと、液晶パネルとランプが表示し、各種ボタンの操作ができるようになります。

ライブ映像を見る (つづき)

映像の明るさを調整する

“CAMERA1” が選択されている時のみ有効なメニューです。

1. [MENU] ボタンを押す
メニュー画面が表示されます。
2. [△,▽] ボタンで[Camera]を選択し、[PUSH] ボタンで決定する
3. [△,▽] ボタンで[AE[-2 -- +2]]を選択する
が表示されます。
4. 明るくしたい場合は [▷] ボタンを押す
暗くしたい場合は [◁] ボタンを押す
通常は “0” (ゼロ) の状態にしてください。

お知らせ：

[CAMERA SELECT]で“CAMERA2”が選択されている時は、[Camera]は選択できず明るさ調整はできません。

映像のフォーカスを調整する

“CAMERA1” が選択されている時のみ有効なメニューです。

1. [MENU] ボタンを押す
メニュー画面が表示されます。
2. [△,▽] ボタンで[Camera]を選択し、[PUSH] ボタンで決定する
が表示されます。
3. [PUSH] ボタンで決定する
オートフォーカス機能により、自動的に焦点を合わせます。
4. オートフォーカスで目標に焦点が合わない場合は、[△,▽] ボタンで[Manual Focus]を選択する
が表示されます。
5. より遠くの目標に焦点を合わせるには [▷] ボタンを押し続け、焦点が合った時にボタンを放す
6. より近くの目標に焦点を合わせるには [◁] ボタンを押し続け、焦点が合った時にボタンを放す

記録中の [REC] ランプを消す

記録中には、“CAMERA1” (カラーカメラ) の [REC] ランプが点灯します。しかし、このランプを常時消灯することもできます。

1. [MENU] ボタンを押す
メニュー画面が表示されます。
2. [△,▽] ボタンで[Setup/Info]を選択し、[PUSH] ボタンで決定する
3. [△,▽] ボタンで[Camera LED]を選択する
4. [◁,▷] ボタンで“OFF”を選択する
常時消灯となります。

ライブ映像を見る (つづき)

AUDIO2の入力を選択する

1. [MENU] ボタンを押す
メニュー画面が表示されます。
2. [△,▽] ボタンで[Audio]を選択し、[PUSH] ボタンで決定する
3. [△,▽] ボタンで[Audio2 Select]を選択する
4. [◀,▶] ボタンで“INCAR”または“WMIC”を選択する
INCAR :
[IN CAR MIC] 端子の入力音声。
WMIC (Wireless Microphone) :
[AUDIO IN 2] 端子の入力音声。

音声をチェックする

ライブ映像を見ているときは、通常音声の出力がOFFになっています。以下の操作で音声が入力されているかチェックすることができます。

1. [MENU] ボタンを押す
メニュー画面が表示されます。
2. [△,▽] ボタンで[Audio]を選択し、[PUSH] ボタンで決定する
3. [△,▽] ボタンで[Audio1 Test]または[Audio2 Test]を選択し、[PUSH] ボタンを押す
[PUSH] ボタンを押している間、音声が出力されます。

お知らせ：

音量調整の状態によっては、大きい音が出力され続けることがあります。そのときは音量を下げてください。

メモリーカードレコーダーの状態を表示する

メモリーカードレコーダーの動作状態やGPIOの状態などを表示することができます。

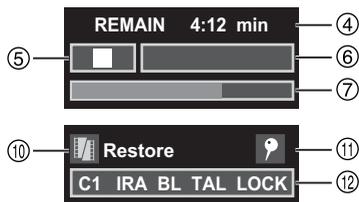
1. [MENU] ボタンを押す
メニュー画面が表示されます。
2. [△,▽] ボタンで[Setup/Info]を選択し、[PUSH] ボタンで決定する
3. [△,▽] ボタンで[On Screen Type]を選択する
4. [◀,▶] ボタンで“SIMPLE”, “DETAILS”, “OFF”を選択する
SIMPLE : On Screen簡易画面が表示されます。
DETAILS : On Screen詳細画面が表示されます。
OFF : On Screenが消えます。

お知らせ：

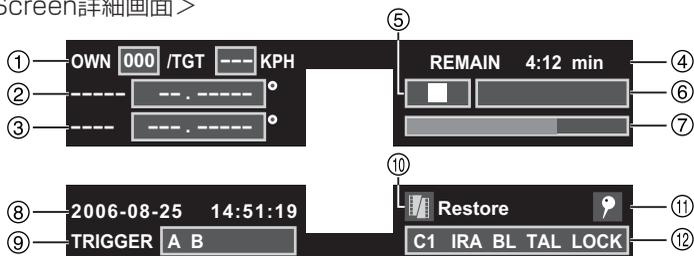
- 電源ON時のオーバーレイOSD (Init On Screen Type) は管理者が設定できます。
- 画面各部の説明は、次ページを参照してください。

ライブ映像を見る (つづき)

<On Screen簡易画面>



<On Screen詳細画面>



- ① 速度 (MPH / KPH)
OWN: 自車速度
TGT: 目標車速度
目標車速度の表示方法は接続されるレーダーガンによって異なります。
例えばProLaser3の場合、1回の測定で約10秒間速度を表示します。その約10秒間以内に次の測定を行うと最新の速度に更新されます。
- ② GPS位置情報 (緯度)
- ③ GPS位置情報 (経度)
- ④ P2カード記録残時間 (HHH:MM)
・記録残時間は約30秒ごとに更新されます。
・循環記録が“ON”に設定されている場合は循環周期 (総記録時間) が表示されます。
- ⑤ モード表示 (■: 停止 ●: 記録)
- ⑥ ステータス表示
PON: 電源ON記録 “ON”
<ステータス表示> (60ページ参照)
CARD FULL, CARD PROTECT, VUP CARD, UNFORMATTED, ILLEGAL CARD, NO CARD
- ⑦ P2カード残容量
- ⑧ 日付/時刻
- ⑨ トリガー入力状態
(GPIO 1~8が左から順に表示)
Hレベルの場合のみ印字文字 (Printable) で設定した文字が表示されます。
- ⑩ 修復必要なファイルが存在する場合のみ表示
- ⑪ マーク位置
📍: ブックマーク位置
📍: トリガー位置
📍: ファイル先頭位置
- ⑫ メモリーカードレコーダーの設定状態
C1 : カメラ1選択
C2 : カメラ2選択
IR : カメラIRモード “ON”
IRA : カメラIRモード “AUTO”
BL : カメラ逆光補正 “ON”
TAL : Camera LED “ON”
LOCK: 操作ボタンロック “ON”

記録する

◎記録の開始と停止

■記録を開始する

[REC] ボタンを押す

映像と音声の記録が開始されます。このとき、ライブ映像が表示されていない場合、自動的にライブ画面に切り替わります。記録中は本機、メモリーカードレコーダー、カラーカメラの [REC] ランプが点灯されます。

お知らせ：

カメラ入力設定に関係なく（例えば [CAMERA SELECT] ボタンで “CAMERA2” を選択している場合）カラーカメラの [REC] ランプが点灯されます。

以下の方法でも記録を開始することができます。ただし、管理者による設定が必要です。

- GPIOの記録トリガーの条件を満たしたとき
- 自車もしくは目標車の速度が設定値を超えたとき
- あらかじめ電源ON記録が “ON” に設定されていて、車のエンジンスイッチがONされたとき
- プログラム記録*1の開始時刻になったとき

■記録を停止する

[STOP] ボタン (■) を押す

[STOP] ボタンを押した直後に [REC] ランプが消灯し、ポスト記録*2時間経過後に映像と音声の記録が停止されます。その後 [BUSY] ランプが消灯します。

以下の場合も記録が停止されます。

- P2カード残容量がなくなったとき
- メモリーカードレコーダーのP2カードスロットカバーが開いたとき
- 管理者設定を開始したとき
- GPIOトリガーレベルの条件を満たしたとき（管理者設定必要）
- 記録継続時間が経過したとき（管理者設定必要）
- P2カードに異常を検出したとき
- プログラム記録*1の終了時刻になったとき

■ブックマークを付ける

記録中のファイルにブックマーク（しおり）を付けて、再生操作時の目印にすることができます。（28ページ参照）

[BOOK MARK] ボタンを押す

ブックマークアイコンが1～2秒間表示されます。

お知らせ：

- ブックマークアイコンはOn Screen上に表示されます。On Screenが表示されていないときは、液晶パネルに表示されます。
- ブックマークは最小2秒間隔で付けることができます。
- 記録を開始した直後の約5秒間は、ブックマークを付けることができません。
- 再生操作時に、ブックマークの位置に再生位置を移動することができます。
- ブックマークは再生中も付けることができます。（28ページ参照）
- ブックマークの削除は再生中のみ可能です。（28ページ参照）

*1 メモリーカードレコーダーの取扱説明書「記録と停止→プログラム記録について」を参照してください。

*2 ポスト記録とは、記録の停止操作した時点から設定時間分だけ記録を継続する機能です。設定時間は、管理者による設定が必要です。

記録する (つづき)

☰ 試し撮りをする

記録が正しく行えるかを確認することができます。

1. [MENU] ボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2. [△,▽] ボタンで[RecCheck]を選択し、[▶] ボタンで決定する

約5秒間記録が行われ、その記録した個所が再生されます。

お知らせ：

- ・記録中および再生中には、試し撮りすることはできません。
- ・試し撮り部分の記録は再生後、自動的に削除されます。

間けつ記録の開始と停止

管理者設定で間けつ記録が設定されている場合は、間けつ記録が実行される以外に通常記録が実行される場合があります。

ボタン操作や記録トリガーおよび記録停止条件などの入力によって、どちらの記録が開始されるか、もしくは記録が停止するかを以下の表に示します。

入力	前の状態	後の状態
[REC] ボタンを押す	記録停止	間けつ記録
[STOP] ボタンを押す	通常記録、 間けつ記録	記録停止
記録トリガー 入力	記録停止、 間けつ記録	通常記録
[STOP] ボタンを除く 記録停止条件 を満たす	通常記録	間けつ記録

再生する

○再生する

[LIVE/ARCHIVE] ボタンを押す

再生画面に切り替わり、前回再生していた位置から再生します。ただし、[LIVE/ARCHIVE] ボタンを押す前に記録の開始・停止が行われている場合は、記録したファイルの先頭から再生されます。

お知らせ：

- ・前回再生終了時の位置がファイル最後尾だった場合、一時停止状態になります。
- ・再生中に [CONTROL PANEL ON/OFF] ボタンを操作してOFFにした場合、ファイル再生が停止します。

■記録ファイル名について

On Screenや再生ファイル一覧画面で表示される記録ファイル名は記録開始時点のローカル時間となっています。年-月-日 時:分:秒で表示されます。

お知らせ：

物理的なファイル名（例えばパソコンで表示されるファイル名）は管理者設定でグローバル時間とローカル時間を切り替えることができます。

■間けつ記録ファイルについて

間けつ記録ファイルは、1秒間に1フレームの映像のみ記録されているファイルで、音声は記録されていません。

お知らせ：

間けつ記録ファイルの再生速度は、少し遅くなります。

■循環記録ファイルについて

循環記録されたファイルは、自動的にファイルが分割され、分割時点の記録開始時刻がファイル名となっています。

○再生方法を切り替える

■再生とポーズ

[⏮] ボタンを押す

再生します。もう一度押すと一時停止します。スロー、巻き戻し、早送り中にこのボタンを押すと一時停止します。

■スロー

[⏪] ボタンを押す

再生速度が1/10または1/2で再生します。

押すたびに1/10→1/2→1/10の速度に切り替わります。

お知らせ：

間けつ記録ファイルは、スロー再生ができません。

■プレイバック

[⏮] ボタンを押す

現在位置の7秒前から再生します。スロー再生時にこのボタンを押したときは、現在位置の7秒前からスロー再生します。

■巻き戻し

[⏮] ボタンを押す

4倍速、20倍速または200倍速で巻き戻します。

押すたびに4倍速→20倍速→200倍速→4倍速と切り替わります。

■早送り

[⏭] ボタンを押す

4倍速、20倍速または200倍速で早送ります。

押すたびに4倍速→20倍速→200倍速→4倍速と切り替わります。

再生する (つづき)

■前スキップ位置へ移動して再生する

[◀◀] ボタンを押す

前のスキップ位置から再生します。現在位置がスキップ位置の5秒以内のときは、それよりも1つ前のスキップ位置から再生します。

ただし、現在位置がファイル内の最初のスキップ位置から5秒以内のときは、前のファイルのスキップ位置から再生します。このとき、前のファイルがないときはスキップしないで、現在位置から再生します。

■次スキップ位置へ移動して再生する

[▶▶] ボタンを押す

次のスキップ位置から再生します。現在位置がファイル内の最後のスキップ位置より後のときは、次のファイルのスキップ位置から再生します。このとき、次のファイルがないときはスキップしないで、現在位置から再生します。

お知らせ：

- スキップ位置は、ブックマークやファイルの先頭と記録を開始したトリガー位置（ファイルに1か所存在）です。ただし、自動的に分割されたファイルの場合、トリガー位置は存在しません。
- スキップしたときの位置によって下記のようなアイコンが約2秒間 On Screen 上に表示されます。On Screen が表示されていないときは、液晶パネルに表示されます。
 - : ブックマーク位置
 - : トリガー位置
 - : ファイル先頭位置条件が重なった場合、ブックマーク位置、トリガー位置、ファイル先頭位置の順番に優先されて表示されます。
- スキップ位置は管理者設定で、[Trigger/Marker]および[Head of File]をあらかじめ設定しておいてください。(36ページ参照)

- スキップできるブックマークの数は最大999までです。それ以上のブックマーク位置へはスキップできません。
- [◀◀] ボタンや [▶▶] ボタンを押すといったん再生を停止して、スキップ位置を探し、その位置から再生を始めます。

◎ブックマークを設定する

■ブックマークを付ける

再生中やポーズ中またはスロー再生中のファイルにブックマーク（しおり）を付けることができます。

[BOOK MARK] ボタンを押す

- ブックマークアイコンが表示されます。
- 再生中またはスロー再生中はいったん停止し、その後、再生またはスロー再生が始まります。

お知らせ：

- ブックマークアイコンは On Screen 上に表示されます。On Screen が表示されていないときは、液晶パネルに表示されます。
- ブックマークは最小2秒間隔で付けることができます。
- ブックマーク設定個所を再生したときは、約2秒間ブックマークのアイコンが画面に表示されます。

■ブックマークを削除する

再生中やポーズ中またはスロー再生中ブックマークのアイコンが表示されている間に [BOOK MARK] ボタンを押す

- ブックマークアイコンが削除されます。
- 再生中またはスロー再生中はいったん停止し、その後、再生またはスロー再生が始まります。

お知らせ：

早送り中または巻き戻し中にはブックマークを付けたり削除することはできません。

再生する (つづき)

■ ファイルを選択して再生する

1. [MENU] ボタンを押す
メニュー画面が表示されます。
2. [△,▽] ボタンで[Archive]を選択し、[PUSH] ボタンで決定する
再生ファイル一覧画面が表示され
ます。

お知らせ：

- ・ファイルの表示順序は記録時の
ファイル名 (35ページ参照) に
より次のようになります。

“WT” (グローバル時間) のファ
イルを記録開始順 (ただし、ロー
カル時間に変換して表示)



“LT” (ローカル時間) のファイル
を記録開始順

- ・P2カードをまたいで記録したとき
に分割されて出来た2個目のファ
イルや、同一開始時刻の2個目以
降のファイルには開始時刻の後ろ
に“*”がついています。
3. [△,▽] ボタンで再生したいファ
イルを選択する ([<,▷] ボタン
を押すと前後のページに切り替
わる)
 4. [PUSH] ボタンで再生を開始する
ファイルの先頭から再生されます。
ファイルの最後尾まで再生すると、
一時停止の状態になります。

■ Audio1,2再生音のON/OFFを設定する

1. [MENU] ボタンを押す
メニュー画面が表示されます。
2. [△,▽] ボタンで[Audio]を選択
する
3. [△,▽] ボタンで[Audio1]また
は[Audio2]を選択する
4. [<,▷] ボタンで“ON” または
“OFF” を選択する

お知らせ：

電源ON時のオーディオ出力 (Init
Audio Out (Play)) は管理者が設定
できます。

■ メモリーカードレコーダーの状態を表示する

再生するファイルを記録していた
ときのメモリーカードレコーダー
の動作状態やGPIOの状態などを
表示することができます。

1. [MENU] ボタンを押す
メニュー画面が表示されます。
2. [△,▽] ボタンで[Setup/Info]を
選択し、[PUSH] ボタンで決定する
3. [△,▽] ボタンで[On Screen
Type]を選択する
4. [<,▷] ボタンで“SIMPLE”、
“DETAILS”、“OFF” を選択する
SIMPLE : On Screen簡易画面が
表示されます。
DETAILS : On Screen詳細画面が
表示されます。
OFF : On Screenが消えます。

お知らせ：

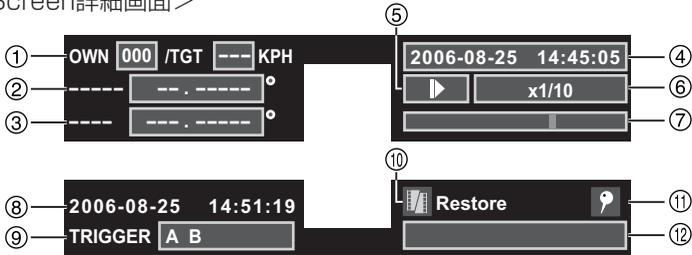
- ・電源ON時のオーバーレイOSD (Init
On Screen Type) は管理者が設定
できます。
- ・画面各部の説明は、次ページを参
照してください。

再生する (つづき)

<On Screen簡易画面>



<On Screen詳細画面>



- ① 速度 (MPH / KPH)
OWN : 自車速度
TGT : 目標車速度
- ② GPS位置情報 (緯度)
- ③ GPS位置情報 (経度)
- ④ 再生ファイル名
(記録を開始したローカル時間)
再生可能なファイルがない場合、
"NO FILE" が表示されます。
- ⑤ モード表示
▶ : 再生
|| : ポーズ
▶▶ : 早送り
◀◀ : 巻き戻し
|▶ : スロー
- ⑥ 再生速度、ステータス表示
〈速度〉
×1/10, ×1/2, ×4, ×20, ×200
〈ステータス表示〉(60ページ参照)
READ ERROR, META ERROR,
PLAY ERROR
- ⑦ 再生位置 (ファイル単位)
- ⑧ 日付/時刻
- ⑨ トリガー入力状態
(GPIO 1~8が左から順に表示)
Hレベルの場合のみ印字文字
(Printable) で設定した文字が表示
されます。
- ⑩ 修復必要なファイルが存在する場合
のみ表示
- ⑪ マーク位置
📍 : ブックマーク位置
📍 : トリガー位置
📍 : ファイル先頭位置
- ⑫ 音声出力設定 (▶:再生時のみ表示)
A1 : Audio1が出力される
A2 : Audio2が出力される

ファイルを修復する

記録中にメモリーカードレコーダーの電源が突然OFFになったり、P2カードが取り出されたりすると再生できないファイルになる場合があります。

P2カードに修復が必要なファイルがある場合には、On Screenに「Restore」が表示されます。([On Screen Type]の設定が“OFF”の場合は、表示されません)通常、メニュー画面の[Restore]項目は無効状態になっていますが、再生できないファイルを検出すると[Restore]項目が有効状態になります。このときには、以下の操作でファイルの修復をしてください。

1. [MENU] ボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2. [△,▽] ボタンで[Restore]を選択し、[PUSH] ボタンで決定する

修復実行確認画面が表示されます。

3. [◀,▶] ボタンで“Restore”を選択し、[PUSH] ボタンで決定する

ファイルの修復が開始されます。修復が終了すると自動的に手順1、操作前の画面に戻ります。

修復中に[Cancel]を選択すると修復を中断することができます。

お知らせ：

- 修復を中断しても、再度修復することができます。
- 修復が必要なファイルがあっても、記録を行うことができます。
- 修復中に記録トリガーが検出されたり、[REC] ボタンが押されると修復を中断して記録を開始します。
- 修復が必要なファイルは、再生ファイル一覧画面には表示されません。あらかじめファイルの修復を行ってください。
- ファイルに重度の障害が発生している場合は、修復できないことがありますので、P2カードへのアクセス中（記録中など）に突然電源を切ったり、[BUSY] ランプが点灯または点滅している間にP2カードを取り出したりしないでください。

製品情報を表示する

■ ソフトウェアのバージョン情報を表示する

1. [MENU] ボタンを押す
メニュー画面が表示されます。
2. [△,▽] ボタンで[Setup/Info]を選択し、[PUSH] ボタンで決定する
3. [◀,▶] ボタンで[Information]を選択し、[PUSH] ボタンで決定する
ソフトウェアのバージョンを含んだ製品情報画面が表示されます。

■ 過去のエラー情報を表示する

エラーダイアログに表示された最近のエラーを最大5つまで表示することができます。

1. 「ソフトウェアのバージョン情報を表示する」の手順1.～3.を実行する

2. [Last Errors]が選択されているので、[PUSH] ボタンで決定する

過去のエラー情報（以下の内容）が表示されます。

- ・ 月日 (MM / DD)
- ・ 時刻 (HH : MM)
- ・ エラー番号
- ・ エラーの種別 (Fatal Error / Error)
- ・ エラーメッセージ (先頭の40文字が表示)

お知らせ：

- ・ 優先順位が低くて表示されなかったエラー情報も表示されます。
- ・ 以下のエラー番号は、過去のエラー情報として表示されません。
E08601、E28201～E28203

メモリーカードレコーダーを再起動する

メモリーカードレコーダーの状態が不安定になった場合は、以下の手順でメモリーカードレコーダーを再起動してください。

1. [MENU] ボタンを押す
メニュー画面が表示されます。
2. [△,▽] ボタンで[Setup/Info]を選択し、[PUSH] ボタンで決定する

3. [△,▽] ボタンで[Reboot]を選択し、[PUSH] ボタンで決定する

再起動の確認画面が表示されます。

4. [◀,▶] ボタンで“Reboot”を選択し、[PUSH] ボタンで決定する

再起動を開始し、40～50秒で完了します。

管理者設定

メモリーカードレコーダーの設定項目には、あらかじめ登録された管理者のみが設定できる項目があります。

■管理者設定画面にログインする

1. パソコンを使ってUSBメモリーに管理者自身のユーザーデータをコピーする

管理者自身のユーザーデータのテキストファイルについては、メモリーカードレコーダーの取扱説明書を参照してください。

2. USBメモリーをメモリーカードレコーダーに接続する

お願い：

- メモリーカードレコーダーの[USB]端子の保護のために、USB延長ケーブル（ケーブルキットに含まれる）を接続してから、USBメモリーを接続してください。
- 接続については、お買い上げの販売店にご相談ください。

3. [MENU] ボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

4. [△,▽] ボタンで[Setup/Info]を選択し、[PUSH] ボタンで決定する

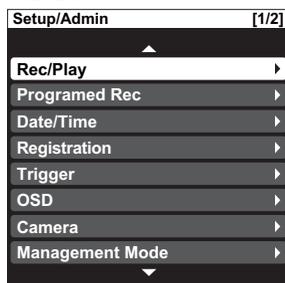
お知らせ：

USBメモリーによっては、正しく認識できない場合があります。

5. [△,▽] ボタンで[Admin]を選択し、[PUSH] ボタンで決定する

USBメモリーから自動的にソート（昇順）された最初の1ファイルが管理者自身のユーザーデータとして読み込まれます。メモリーカードレコーダーにすでに登録されている管理者自身のユーザーデータを検索し、以下の場合に管理者設定トップ画面が表示されます。

- 購入直後など、管理者自身のユーザーデータが1件も登録されていないとき。
- 登録済みの管理者自身のユーザーデータの中に一致するものがあるとき。



登録済みの管理者自身のユーザーデータがあるにもかかわらず、一致するものがないときは、以下の画面が表示されて自動的にメニュー画面に戻ります。

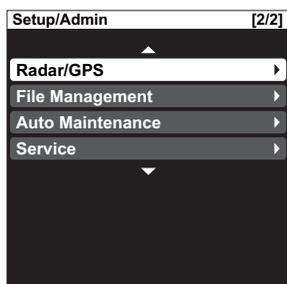
管理者より正しいデータを入手し、手順1から再度実行してください。



お知らせ：

各設定項目の工場出荷設定値はメモリーカードレコーダーの取扱説明書を参照してください。

管理者設定 (つづき)



記録と再生 (Rec/Play)

■電源OFF時間 (PowerOff Time)

車のエンジンスイッチをLOCK(OFF)してからメモリーカードレコーダーと本機の電源がOFFされるまでの時間を設定します。

設定値 (分) :

0/10/20/30/60/90/120/180

■電源ON時のカメラ選択 (Init Camera Select)

電源ON時のカメラを選択します。

1 : [CAMERA1] 端子に接続の
カラーカメラ

2 : [CAMERA2] 端子に接続の
市販カメラ

LAST: 脚注参照*1

■電源ON時のオーディオ選択 (Init Audio2 In Select)

電源ON時のAudio2入力を選択します。

INCAR : [IN CAR MIC] 端子の入力
信号

WMIC : [AUDIO IN 2] 端子の入力
信号

LAST : 脚注参照*1

■電源ON記録 (PowerOn Rec)

メモリーカードレコーダーの電源ONで記録を開始するように設定します。

設定値 : ON/OFF

■循環記録 (Loop Rec)

P2カード残容量が無くなっても、古いファイルから順に削除しながら記録するように設定します。

設定値 : ON/OFF

■間けつ記録 (Intermittent Rec)

1秒間に1フレームの映像のみ記録*2するように設定します。

設定値 : ON/OFF

■解像度/記録レート (Resolution/RecRate)

画面解像度と記録レートを設定します。

Q-512kbps :

320X240 512 kbps 30 fps

Q-1Mbps :

320X240 1 Mbps 30 fps

F-1Mbps :

720X480 1 Mbps 10 fps

F-2Mbps :

720X480 2 Mbps 30 fps

*1 前回電源OFF時の状態で起動します。正しく電源OFFされなかった場合は、電源OFF時の状態が正しく保存されない場合があります。

*2 通常記録は、1秒間に30フレームまたは10フレームの映像と音声を記録します。

管理者設定 (つづき)

■記録継続時間

(Rec Continue Time)*1

トリガーが入力されるか [REC] ボタンが押されたときの通常記録の継続時間を設定します。

設定値 (分) :

1/2/5/10/15/20/30/60/
90/CONTINUE

■映像プリ記録時間

(PreRec Time (Video))*2

トリガーが入力されるか [REC] ボタンが押されたときに、どれだけの時間をさかのぼって映像記録を開始するか設定します。

設定値 (秒) :

0/10/20/30/60/90

■音声プリ記録時間

(PreRec Time (Audio))*2

トリガーが入力されるか [REC] ボタンが押されたときに、どれだけの時間をさかのぼって音声記録を開始するか設定します。

ただし、映像プリ記録時間より長く設定しても映像プリ記録時間の設定時間で音声記録も開始されます。

設定値 (秒) :

0/3/10/20/30/60/90

■映像ポスト記録時間

(PostRec Time (Video))*3

[STOP] ボタンが押されたときより後に、継続して映像記録する時間を設定します。

設定値 (秒) :

0/10/20/30/60/90

■音声ポスト記録時間

(PostRec Time (Audio))*3

[STOP] ボタンが押されたときより後に、継続して音声記録する時間を設定します。

ただし、映像ポスト記録時間より長く設定しても映像ポスト記録時間の設定時間で継続して音声記録されます。

設定値 (秒) :

0/3/10/20/30/60/90

■ファイル名

(Rule of Filename)

記録時に作成されるファイル名の規則を設定します。

WT : グローバル時間

LT : ローカル時間

■トリガー時のカメラ選択

(CAM Select in Trigger)

GPIOトリガー入力で記録を開始したときに使用するカメラを設定します。

1 : [CAMERA1] 端子に接続の
カラーカメラ

2 : [CAMERA2] 端子に接続の
市販カメラ

NO CHANGE : 現在の設定から変更
しない

■電源ON時の音声記録

(Init Audio2 Rec)

電源ON時のAUDIO2の記録を設定
します。

ON : 記録する

OFF : 記録しない

LAST : 脚注参照*4

*1 間けつ記録、プログラム記録による記録は、記録継続時間によって記録が停止することはありません。

*2 間けつ記録、プログラム記録による記録には、プリ記録時間は含まれません。

*3 間けつ記録、プログラム記録による記録、記録継続時間によって記録が停止した場合は、ポスト記録時間は含まれません。

*4 前回電源OFF時の状態で起動します。正しく電源OFFされなかった場合は、電源OFF時の状態が正しく保存されない場合があります。

管理者設定 (つづき)

■Rec Tally出力 (Rec Tally Out)

GPIO9信号の記録状態の出力の許可/禁止を設定します。許可されていればハイ (出力電圧5 V) が記録状態を示します。

設定値：ENABLE/DISABLE

■オーバーレイOSD (Init On Screen Type)

電源ON時の表示のしかたを設定します。

設定値：SIMPLE/DETAILS/LAST*1
/OFF

■電源ON時のオーディオ出力 (Init Audio Out (Play))

電源ON時の再生オーディオ出力を設定します。

OFF：Audio1, Audio2両方とも出力しません。

1：Audio1のみ出力します。

2：Audio2のみ出力します。

BOTH：Audio1, Audio2両方とも出力します。

LAST：脚注参照*1

スキップ位置 (Skip Target)

[前スキップ] ボタンや [次スキップ] ボタンを押したときに移動するスキップ位置を設定します。

■トリガー/マーカー (Trigger / Marker)

再生中、最初に出現する記録を開始したトリガー位置 (ファイルに1か所存在) あるいは、ブックマーク位置に移動します。ただし、自動的に分割されたファイルの場合、トリガー位置は存在しません。

設定値：YES/NO

■ファイルの先頭 (Head of File)

再生中、ファイルの先頭位置に移動します。

設定値：YES/NO

お知らせ：

- [Trigger/Marker] と [Head of File] 両方とも “YES” の場合は、最初に出現するトリガー位置やブックマーク位置あるいはファイル先頭位置に移動します。
- [Trigger/Marker] と [Head of File] の両方を “NO” に設定することはできません。

プログラム記録 (Programed Rec)

毎日もしくは1週間の曜日ごとに記録開始時刻と終了時刻を設定します。

■毎日 (Daily)*2

設定した開始時刻から終了時刻までの時間、毎日記録します。

ON：開始時刻と終了時刻を設定できます。

—：設定できません。

お知らせ：

[Daily] が “ON” に設定されると [Mon] ~ [Sun] の設定欄が “—” に変更され、設定できません。

■月～日 (Mon ~ Sun)*2

曜日ごとに、設定した開始時刻から終了時刻までの時間、記録します。

ON：開始時刻と終了時刻を設定できます。次の日の時刻設定も可能です。

—：設定できません。

*1 前回電源OFF時の状態で起動します。正しく電源OFFされなかった場合は、電源OFF時の状態が正しく保存されない場合があります。

*2 <Duration>欄には、開始時刻から終了時刻までの期間が表示されます。

管理者設定 (つづき)

お知らせ：

- 開始時刻は、前日の終了時刻かもしくは、それ以降の時刻しか設定できません。
- 終了時刻を開始時刻と等しい値もしくは、終了時刻を開始時刻以前の値に設定した場合、終了時刻は次の日の時刻になります。
- 設定した開始時刻から終了時刻までの時間以外でも、記録トリガーや[REC]ボタンが押されるなど記録開始条件を満たせば記録を開始します。
- 設定した開始時刻から終了時刻までの時間内に電源ONされた場合、プログラム記録が開始します。
- プログラム記録実行中に自動メンテナンスが実行されると、40～50秒間記録が中断する場合があります。

日付と時刻 (Date/Time)

■タイムゾーン (TimeZone)

世界標準時からの差を設定します。

Hawaii	：ハワイ標準
Yukon	：アラスカ標準
Yukon DST	：アラスカサマータイム
Pacific	：太平洋標準
Pacific DST	：太平洋サマータイム
Mountain	：山地標準
Mountain DST	：山地サマータイム
Central	：中央標準
Central DST	：中央サマータイム
Eastern	：東部標準
Eastern DST	：東部サマータイム
Atlantic	：大西洋標準
Atlantic DST	：大西洋サマータイム
Asia Tokyo	：日本

■日付の表示形式 (Style)

日付の表示形式を設定します。

ISO	：YYYY-MM-DD HH：MM：SS
USA	：MM/DD/YYYY HH：MM：SS

■日付時刻合わせ (Date/Time) 時刻設定 (Set)

[日付時刻合わせ (Date/Time)] で設定し、[設定 (Set)] を押して、確定します。

設定値：年/月/日 時：分：秒

登録 (Registration)

■管理者データの読み込み (Load Admin)

USBメモリーから管理者データを読み込み、既存の管理者データがある場合はそれらを削除して、すべての管理者データを更新します。

お知らせ：

工場出荷状態では、管理者データは何も登録されていません。

■管理者の一覧表示 (List Admin)

すでにメモリーカードレコーダーに管理者として登録されているIDと使用者名を表示します。[△,▽] ボタンでページを移動できます。

■使用者データの読み込み (Load Officer)

USBメモリーから使用者データを読み込み、既存の使用者データがある場合はそれらを削除して、すべての使用者データを更新します。

お知らせ：

工場出荷状態では、使用者データは何も登録されていません。

■使用者の一覧表示 (List Officer)

すでにメモリーカードレコーダーに使用者として登録されているIDと使用者名を表示します。[△,▽] ボタンでページを移動できます。

管理者設定 (つづき)

トリガー (Trigger)

■GPIOの設定

GPIOを使用する/使用しないを設定します。

設定値：ON/OFF

■トリガー 1～7の設定 (Trigger1～7)

<検出 (Detection) >

トリガー 1～7の検出条件を設定します。使用しないトリガーは“N”に設定してください。

N : 入力不可
H : ハイエッジトリガー
Level H : ハイレベルトリガー
L : ローエッジトリガー
Level L : ローレベルトリガー
B : 両エッジトリガー

<画面表示 (OSD) >

OSD画面にGPIO信号の状態を表示する/表示しないの設定をします。

設定値：ON/OFF

<印字文字 (Printable) >

OSD画面に表示するときの文字を割り当てます。

設定値：A～Z, -

お知らせ：

画面表示 (OSD) の設定が“ON”のときGPIO信号がハイの状態を設定した印字文字が表示されます。

■トリガー 8の設定 (Trigger8)

<検出 (Detection) >

トリガー 8の検出条件を設定します。使用しないときは“N”に設定してください。

N : 入力不可
H : ハイエッジトリガー
Level H : ハイレベルトリガー
L : ローエッジトリガー
Level L : ローレベルトリガー
B : 両エッジトリガー
SPEED : 車速を検出

<画面表示 (OSD) >

OSD画面に表示する/表示しないを設定します。

設定値：ON/OFF

<印字文字 (Printable) >

OSD画面に表示するときの文字を割り当てます。

設定値：A～Z, -

お知らせ：

- SPEEDが選択されたときには、画面表示 (OSD) と印字文字 (Printable) の設定値は“-”となり、変更することはできません。また画面も表示されません。
- SPEEDを選択する前に41ページのパルス数の設定値を確認してください。パルス数が正しく設定されていない状態でSPEEDを“ON”にすると、異常なトリガーが発生する場合があります。

画面表示 (OSD)

■OSDの設定 (OSD)

画面に表示するOSDと記録ファイルに埋め込まれるOSDのON/OFFを設定します。

設定値：ON/OFF

■OSDの表示位置 (Display Position)

画面に表示するOSDと記録ファイルに埋め込まれるOSDの表示位置を設定します。

L-Upper : 左上部に表示します。
R-Upper : 右上部に表示します。
L-Bottom : 左下部に表示します。
R-Bottom : 右下部に表示します。

■トリガーの表示 (Trigger)

GPIO1～8入力時に表示する/表示しないを設定します。

設定値：ON/OFF

管理者設定 (つづき)

お知らせ：

On Screen詳細画面 (24, 30ページ参照) が表示されているときには、その下に隠れて表示されません。

■時刻の表示 (Time)

記録時に日付と時刻を表示する/表示しないを設定します。

設定値：ON/OFF

お知らせ：

On Screen詳細画面 (24, 30ページ参照) が表示されているときには、その下に隠れて表示されません。

カメラ (Camera)

■ズーム制限値 (Zoom Limit)

最大ズーム倍率を設定します。

設定値：×22/×220

■AGCの設定 (AGC Level)

カメラ入力ゲインコントロールの程度を設定します。

設定値：LOW/MID/HIGH/OFF

■逆光補正 (Init Backlight)

電源ON時の逆光補正機能を、使用する/使用しないを設定します。

設定値：ON/OFF/LAST*1

■電源ON時の明るさの設定 (Init AE Shift)

電源ON時の明るさを設定します。

設定値：-2/-1/0/+1/+2/LAST*1

■カメラ出力画像 (Flip)

カメラ出力画像の上下反転をする/しないを設定します。

設定値：ON/OFF

■オートズーム倍率 (AutoZoom Magnification)

ズームイン時の目標ズーム倍率を設定します。

設定値：X1/X2/X3/X4/X5/X7/X10/X15/X22

■オートズーム時間 (AutoZoom Time)

ズームイン時の静止時間を設定します。

設定値 (秒)：3/5/8

■電源ON時のカメラランプ (Init Camera LED)

電源ON時のカメラランプの点灯する/しないを設定します。

設定値：ON/OFF/LAST*1

■電源ON時のIR機能の設定 (Init IR Mode)

電源ON時のIR機能を設定します。

設定値：AUTO*2/OFF/ON/LAST*1

■IRレベル (IR Level)

IR機能の自動切り替え時のレベルを設定します。

設定値：LOW/HIGH

■IR時間 (IR Time)

IR機能の自動切り替え時の検出時間を設定します。

設定値 (秒)：10/30/60/300

*1 前回電源OFF時の状態で起動します。正しく電源OFFされなかった場合は、電源OFF時の状態が正しく保存されない場合があります。

*2 自動でON/OFFを切り替えます。

管理者設定 (つづき)

管理モード (Management Mode)

使用者データの設定 (Management of Officer Setup)

■設定方法 (Setting Method)

使用者データを設定するには、以下の方法があります。

AUTO : USBメモリーから最大2名分の使用者データを自動的に読み込み、設定します。

MANUAL : メニューを液晶パネルに表示し、使用者設定トップ画面で、USBメモリーから使用者データを読み込み、設定します。

LIST : メニューを液晶パネルに表示し、使用者設定トップ画面から、メモリーカードレコーダーにすでに登録されている使用者データをリストから選んで、設定します。

■操作ボタンのロック (Operation Key Lock)

[REC] ボタン、[MENU] ボタン、[CONTROL PANEL ON/OFF] ボタン、[RETURN] ボタン、メモリーカードレコーダーとカラーカメラの [REC] ボタンを除くボタンの操作をロックします。

設定値 : ON/OFF

お知らせ :

- 管理者データが登録されたUSBメモリーを接続すると、[MENU] ボタンを押してメニュー項目から管理者設定トップ画面に入ることができます。管理者設定で [Management Mode] - [Operation Key Lock] の設定を“OFF” にすることでボタンのロックが解除できます。

- ボタンのロックは、ライブ画面に移動して初めて有効になります。
- ロックされているかどうかは、[LOCK]ランプ点灯の有無で表示されます。
- 使用者設定にも独立したロック設定がありますが、管理者設定でロックされた場合は、使用者設定でロックを解除できません。
- カラーカメラのズームボタンと照明ボタンはロックできません。

レーダーとGPS (Radar/GPS)

レーダーガン (Radar Model:)

■通信速度 (Baud Rate)

設定値 (bps) : 1200/2400/
4800/9600/
19200/38400

■ビット長 (Bit Length)

設定値 (bit) : 7/8

■ストップビット長 (Stop Bit)

設定値 (bit) : 1/2

■パリティ (Parity)

設定値 : NON/ODD/EVEN

■機種選択 (Model Select)

Kustom Signal社のProLaser3に標準対応しています。他の機種との接続が必要な場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

■機種追加 (Addition of Model)

お買い上げの販売店にご相談ください。誤って機種追加画面に入った場合は [Cancel] ボタンを押して抜けてください。

管理者設定 (つづき)

■レーダー接続先 (Connection of Radar)

レーダーガンの接続先を設定します。

VPU：メモリーカードレコーダー
に接続するとき

OFF：接続しないとき

お知らせ：

- ・本機は走行中の自転車から走行中の目標車の速度を演算で求める機能は持っていません。
- ・目標車速度は近づく方向の速度と、遠ざかる方向の速度の区別はありません。
- ・レーダーガンの種類によっては、目標車の速度を正しく測定できる条件設定機能を持っているものがあります。レーダーガンの取扱説明書に従ってご使用ください。
- ・レーダーガンが異常の場合は、エラーメッセージが表示されます。

GPS (GPS)

■GPS接続先 (Connection of GPS)

GPSオプションの接続先を設定します。

VPU：メモリーカードレコーダー
に接続するとき

OFF：接続しないとき

■GPS情報収集時間 (Collection Time)

GPSデータの収集時間を設定します。

設定値 (秒)：1/2/5/10

■測地系 (Geodetic System)

測地系を設定します。日本で使用されている地図には2種類の測地系があり、使う地図の測地系に合わせて設定します。タイムゾーン (TimeZone) が "Asia Tokyo" に設定されているときのみ設定できます。

WGS84：世界測地系

TOKYO：日本測地系 (旧)

スピードパルス (Speedpulse)

■パルス数 (Speedpulse at Std Speed)*

速度単位をMPHに設定している場合：

40 M/h時の1秒間のパルス数を設定します。(メモリーカードレコーダーの「車速パルス設定早見表 (40 M/h時)」参照)

設定値：5～400

速度単位をKPHに設定している場合：

60 Km/h時の1秒間のパルス数を設定します。(メモリーカードレコーダーの「車速パルス設定早見表 (60 km/h時)」参照)

設定値：5～400

* タイヤの外径と車輪1回転当りのパルス数を元に車速パルス設定早見表からパルス数を得て設定します。設定された値が正しいことを実際に車を走らせて確認してください。外径とはタイヤの外側の直径で、リムサイズではありません。

管理者設定 (つづき)

記録開始速度 (Rec Start Information)

■自車速度 (Own Speed)

記録を開始する自車の速度を速度単位にしたがって設定します。

設定値：1～500

■目標車速度 (Target Speed)

記録を開始する目標車の速度を速度単位にしたがって設定します。

設定値：1～500

■速度単位 (Speed Unit)

設定値：MPH/KPH

お知らせ：

- ・自車速度と目標車速度の両方を設定している場合、一方の条件を満たすと記録が開始されます。
- ・自車速度の優先順位は、車速パルス、レーダーガン、GPSの順番になります。レーダーガンが自車速度測定機能を持っていない場合は、車速パルス、GPSの順番になります。
この優先順位は、車速の記録トリガーとOn Screen表示も同様です。

ファイル管理 (File Management)

■エクスポート (Export)

メモリーカードレコーダー内の映像や音声データファイルをUSBメモリーにコピーします。コピー完了後、自動的にメモリーカードレコーダー内の映像や音声データファイルを削除します。

お知らせ：

USBメモリーにバージョンアップファイルが保存されているとエラーメッセージ“E28406”が表示されエクスポートは実行されません。(59ページ参照)

■ファイル全削除 (Delete All Files)

メモリーカードレコーダー内の映像や音声データファイルをすべて削除します。確認のダイアログ画面が表示され、“Delete”を選択すると削除が実行されます。“Cancel”を選択すると削除されません。

お知らせ：

- ・ファイル全削除中はボタン操作や電源OFFをしないでください。
- ・以下のエラーが出ているP2カードのファイルは削除できません。
 - ・CARD PROTECT
 - ・VUP CARD
 - ・UNFORMATTED
 - ・ILLEGAL CARD
 - ・NO CARD

■フォーマット (Format)

メモリーカードレコーダー内のすべてのP2カードをフォーマットします。確認のダイアログ画面が表示され、“Format”を選択するとフォーマットが実行されます。“Cancel”を選択するとフォーマットされません。

お知らせ：

- ・フォーマット中はボタン操作や電源OFFをしないでください。
- ・以下のエラーが出ているP2カードはフォーマットできません。
 - ・CARD PROTECT
 - ・VUP CARD
 - ・ILLEGAL CARD
 - ・NO CARD

管理者設定 (つづき)

自動メンテナンス(Auto Maintenance)

メモ리카ードレコーダーは連続運転時、システムの健全性を維持するため定期的に再起動し、ファイルチェックと使用メモリー領域の解除を行います。

定期的に電源OFFにする使い方をする場合は、自動メンテナンスを実行する必要はありません。

反対に、定期的に電源OFFしない使い方をする場合は、支障のない範囲で短い周期に設定して、自動メンテナンスを実行してください。

自動メンテナンスを開始する直前に、実施を確認するダイアログ画面が10～20秒間表示されます。この間に[CONTROL PANEL ON/OFF] ボタン、[REC] ボタン、[STOP] ボタン、[RETURN] ボタン、[] ボタンのいずれかを押しとキャンセルすることができます。キャンセル操作をしなければ自動メンテナンスが実行されます。

自動メンテナンスは、実施予定日時に到達したとき、以下の条件のときに実行・キャンセルされます。

<実行>

- ・記録停止中のとき
- ・記録中であっても最大90分待ち、その間に記録が停止したとき
- ・循環記録の設定が“ON”または、プログラム記録の設定時間以外で間けつ記録を行っているとき（間けつ記録を停止して実行します）
- ・ファイル修復中および管理者設定などの設定中のとき（操作終了後に実行します）
- ・再生中のとき（再生を停止して実行します）

<キャンセル>

- ・90分以上記録が継続しているとき
- ・P2カードスロットカバーが開いた状態のとき

お知らせ：

- ・自動メンテナンス終了後、直ちに記録を開始したい場合は、電源ON記録を“ON”に設定してください。
- ・自動メンテナンスが実行されると、再起動により電源ON直後の状態になります。自動メンテナンスを“ON”にする場合は、以下の管理者設定項目の設定値を“LAST”にしておくと、再起動によって設定状態が変化することはありません。また、設定を固定して使用する場合は“LAST”以外の設定値を選んでください。

<記録と再生 (Rec/Play) >

- ・電源ON時のカメラ選択 (Init Camera Select)
- ・電源ON時のオーディオ選択 (Init Audio2 In Select)
- ・電源ON時の音声記録 (Init Audio2 Rec)
- ・オーバーレイOSD (Init On Screen Type)
- ・電源ON時のオーディオ出力 (Init Audio Out (Play))

<カメラ (Camera) >

- ・逆光補正 (Init Backlight)
- ・電源ON時の明るさの設定 (Init AE Shift)
- ・電源ON時のカメラランプ (Init Camera LED)
- ・電源ON時のIR機能の設定 (Init IR Mode)

管理者設定 (つづき)

■次回実施日 (Next Maintenance Day)

次回の自動メンテナンス実行日が表示されます。画面下方に、設定されている動作 (Operation)、周期 (Interval)、日 (Day)、時刻 (Time) が表示されます。

■設定変更 (Change a day)

[△,▽] ボタンで[Change a day] を選択し、[PUSH] ボタンで決定すると、設定変更画面が表示され、以下の設定を変更することができます。いったん、設定変更画面に入ると必ず、周期の開始時刻は現在時刻に設定され、次回実施日が新しい日に設定されます。

- 動作 (Operation)、周期 (Interval)、日 (Day)、時刻 (Time)

お知らせ：

- 設定変更画面に入ると、自動メンテナンス実施日は周期の設定値 (か月) 後の日になります。また、変更前の自動メンテナンス実施日がキャンセルされたことが過去のエラー情報に残されます。
- メモリーカードレコーダーを再起動すると (32ページ参照)、自動メンテナンスを実行したのと同じ効果があります。

■設定変更画面 (Auto Maintenance)

■動作 (Operation)

自動メンテナンスの実行する／実行しないを設定します。

設定値：ON/OFF

■周期 (Interval)

自動メンテナンスの実行周期を設定します。

設定値 (か月)：1/3/6/12

■日 (Day)

自動メンテナンスを実行する週と曜日を設定します。

設定値 (週)：1st/2nd/3rd/Last

設定値 (曜日)：Mon/Tue/Wed/Thu/
Fri/Sat/Sun

■時刻 (Time)

自動メンテナンスの開始時刻を設定します。

設定値：HH：MM

管理者設定 (つづき)

サービス (Service)

■メモリーカードレコーダー稼働時間

(AG-CPD15 Operating Time)

メモリーカードレコーダーの稼働時間を表示します。

(単位：時)

■ファン稼働時間 (FAN Operating Time)

ファンの稼働時間を表示します。

(単位：時)

■カメラ1稼働時間 (CAM1 Operating Time)

カラーカメラの稼働時間を表示します。

(単位：時)

■本機稼働時間 (AG-RCP30 Operating Time)

本機の稼働時間を表示します。

(単位：時)

■液晶パネル点灯時間 (LCD Lighting Time)

液晶パネルの累積点灯時間を表示します。

(単位：時)

■メモリーカードレコーダーのバージョン (AG-CPD15 Version)

メモリーカードレコーダーのバージョンを表示します。

■ソフト更新日 (BIOS Creation Date)

BIOSソフトの作成日付を表示します。(月/日/年)

■マイコンのバージョン (Microcontroller Version)

マイコンのバージョンを表示します。

■本機のバージョン (AG-RCP30 Version)

本機のバージョンを表示します。

■バージョンアップ (Version Up)

バージョンアップファイルの入手については、お買い上げの販売店にご相談ください。あらかじめパソコンを使って入手したバージョンアップファイルをP2カードもしくはUSBメモリーのルートディレクトリー*に保存してください。

1. P2カードをメモリーカードレコーダーに挿入、もしくはUSBメモリーをメモリーカードレコーダーに接続する

2. [Version Up]ボタンが選択されているので、[F5]ボタンで決定する

確認のダイアログ画面が表示されます。

3. “YES”を選択し、[F5]ボタンで決定する

バージョンアップが実行され、自動的にメモリーカードレコーダーが再起動されます。

お知らせ：

- ・バージョンアップ中はボタン操作や電源OFFをしないでください。
- ・バージョンアップが失敗した場合は、エラー画面が表示されて停止します。エラー番号をメモして販売店にご相談ください。
- ・エラー番号はE00***やE20***などです。***には数字が入ります。

* ルートディレクトリーが以下の条件のときバージョンアップは実行されません。

- ・ DATAフォルダーが存在する
- ・ 複数のバージョンアップファイル (拡張子：.vup) が存在する

メニュー画面一覧

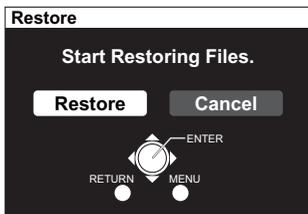
メモリーカードレコーダーの各種設定や調整および変更は、本機のメニュー操作によって行います。

■ライブ画面で記録停止中に [MENU] ボタンを押したとき

・メニュートップ画面

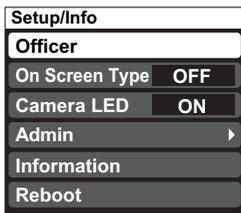


Restore (31ページ)

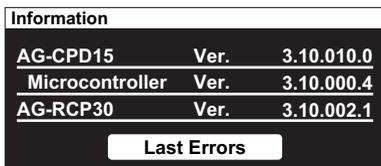


Setup/Info

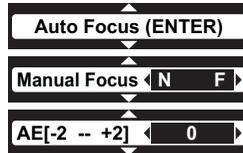
(18, 19, 20, 22, 23, 32, 33ページ)



Information (32ページ)

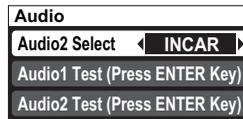


Camera (22ページ)

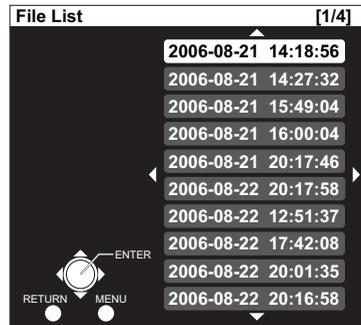


RecCheck (26ページ)
試し撮りをする。

Audio (23ページ)



Archive (29ページ)



Officer (50ページ)
使用者設定トップ画面を表示する。

Admin (51 ~ 53ページ)
管理者設定トップ画面を表示する。
管理者のみが操作できるメニューに進みます。

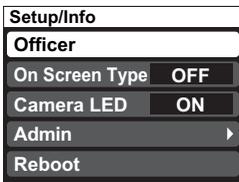
メニュー画面一覧 (つづき)

■ ライブ画面で記録中に [MENU] ボタンを押したとき

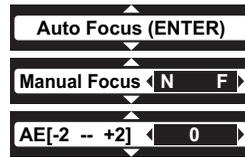
- ・メニュートップ画面



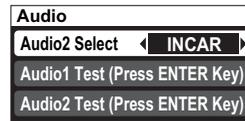
Setup/Info
(18, 19, 20, 22, 23, 32, 33ページ)



Camera (22ページ)



Audio (23ページ)



Officer (50ページ)
使用者設定トップ画面を表示する。

Admin (51 ~ 53ページ)
管理者設定トップ画面を表示する。
管理者のみが操作できるメニューに進みます。

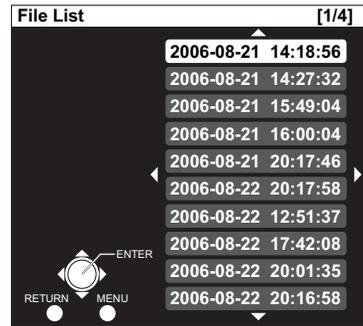
メニュー画面一覧 (つづき)

■再生画面で [MENU] ボタンを押したとき

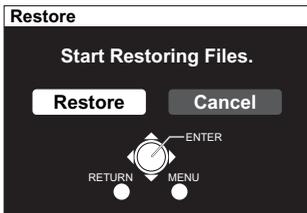
・メニュートップ画面



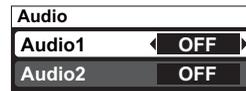
Archive (29ページ)



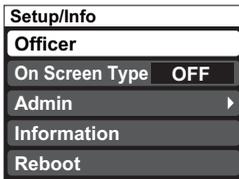
Restore (31ページ)



Audio (29ページ)



Setup/Info (18, 19, 20, 29, 32, 33ページ)



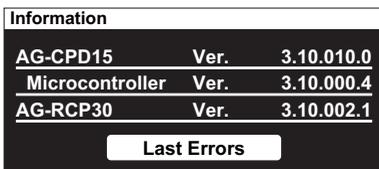
Officer (50ページ)

使用者設定トップ画面を表示する。

Admin (51 ~ 53ページ)

管理者設定トップ画面を表示する。
管理者のみが操作できるメニューに進みます。

Information (32ページ)

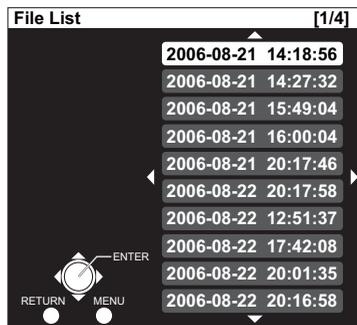


メニュー画面一覧 (つづき)

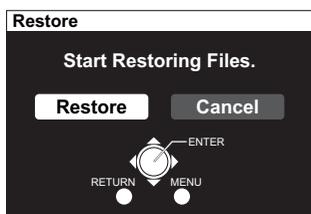
- “Archive” 画面、使用者設定トップ画面、管理者設定トップ画面および “Restore” 実行中に [MENU] ボタンを押したとき



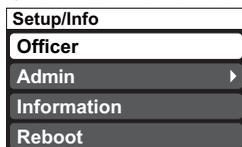
Archive (29ページ)



Restore (31ページ)



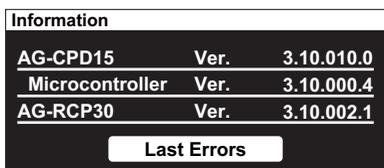
Setup/Info (18, 19, 20, 32, 33ページ)



Officer (50ページ)
使用者設定トップ画面を表示する。

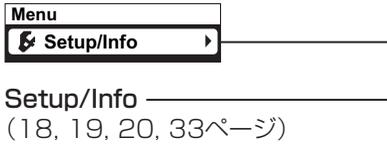
Admin (51 ~ 53ページ)
管理者設定トップ画面を表示する。
管理者のみが操作できるメニューに進みます。

Information (32ページ)



メニュー画面一覧 (つづき)

■記録中に使用者設定トップ画面で [MENU] ボタンを押したとき



Officer (50ページ)
使用者設定トップ画面を表示する。

Admin (51～53ページ)
管理者設定トップ画面を表示する。
管理者のみが操作できるメニュー
に進み記録は停止します。

・使用者設定トップ画面 (18～20ページ)

使用者設定方法に応じて、3種類の使用者設定トップ画面があります。

<AUTO>

Officer

Officer1 Info
ID : PAN00627
Name : Taro Matsushita

Officer1

Officer2 Info
ID : PAN01945
Name : Hanako Matsushita

Officer2

Operation Key Lock OFF

<LIST>

Officer

Officer1 Info
ID : PAN00627
Name : Taro Matsushita

Officer1 Select Delete

Officer2 Info
ID : PAN01945
Name : Hanako Matsushita

Officer2 Select Delete

Operation Key Lock OFF

<MANUAL>

Officer

Officer1 Info
ID : PAN00627
Name : Taro Matsushita

Officer1 Load Delete

Officer2 Info
ID : PAN01945
Name : Hanako Matsushita

Officer2 Load Delete

Operation Key Lock OFF

メニュー画面一覧 (つづき)

- ・管理者設定トップ画面 (1) - 1 (33ページ)

Setup/Admin [1/2]

- Rec/Play
- Programed Rec
- Date/Time
- Registration
- Trigger
- OSD
- Camera
- Management Mode

- Rec/Play (34 ~ 36ページ)

Rec/Play [1/3]

- PowerOff Time 120 min
- Init Camera Select 1
- Init Audio2 In Select INCAR
- PowerOn Rec OFF
- Loop Rec OFF
- Intermittent Rec OFF
- Resolution / RecRate Q-512kbps
- Rec Continue Time CONTINUE

- Date/Time (37ページ)

Date/Time

- TimeZone Asia Tokyo
- Style ISO
- yyyy MM dd HH mm ss
- Date/Time 2006 / 09 / 28 13:50:46
- Set

Rec/Play [2/3]

- PreRec Time (Video) 90 sec
- PreRec Time (Audio) 90 sec
- PostRec Time (Video) 90 sec
- PostRec Time (Audio) 90 sec
- Rule of Filename WT
- CAM Select in Trigger 1
- Init Audio2 Rec ON
- Rec Tally Out ENABLE

- Programed Rec (36, 37ページ)

Programed Rec

	Start	End	Duration
Daily	- : -	-- : --	: :
Mon	ON 02 : 15	-- 08 : 00	05 : 45 min
Tue	- : -	-- : --	: :
Wed	ON 00 : 00	-- 00 : 00	24 : 00 min
Thu	ON 16 : 00	-- 08 : 00	16 : 00 min
Fri	ON 08 : 00	-- 17 : 00	09 : 00 min
Sat	- : -	-- : --	: :
Sun	- : -	-- : --	: :

Rec/Play [3/3]

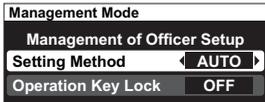
- Init On Screen Type OFF
- Init Audio Out (Play) BOTH
- Skip Target
- Trigger / Marker YES
- Head of File YES

メニュー画面一覧 (つづき)

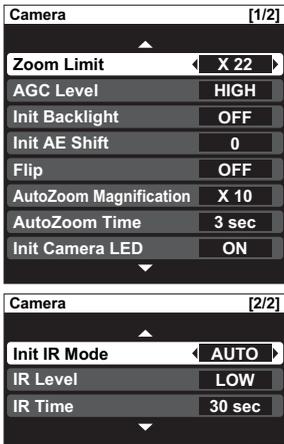
・管理者設定トップ画面 (1) -2 (33ページ)



Management Mode (40ページ)



Camera (39ページ)



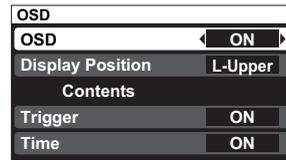
Registration (37ページ)



Trigger (38ページ)

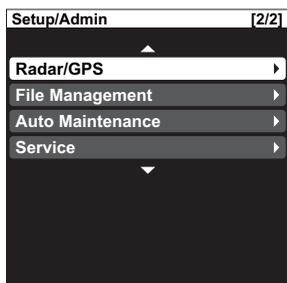
Trigger			
GPIO	Detection	OSD	Printable
GPIO			ON
Trigger1	N	OFF	-
Trigger2	N	OFF	-
Trigger3	N	OFF	-
Trigger4	N	OFF	-
Trigger5	N	OFF	-
Trigger6	N	OFF	-
Trigger7	N	OFF	-
Trigger8	N	OFF	-

OSD (38, 39ページ)

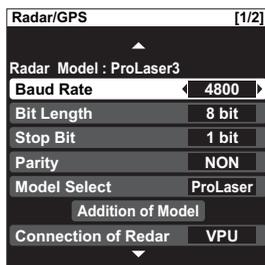


メニュー画面一覧 (つづき)

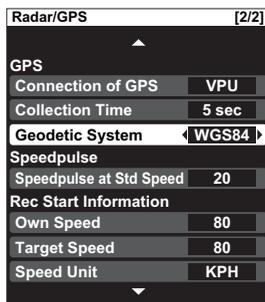
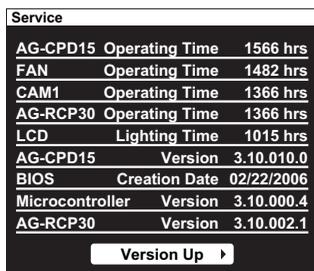
- ・ 管理者設定トップ画面 (2)
(33ページ)



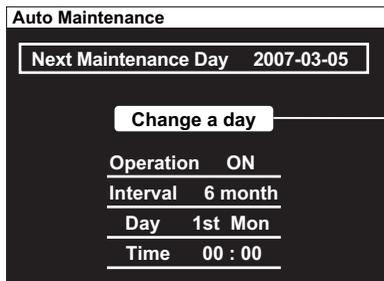
- Radars/GPS (40, 41ページ)



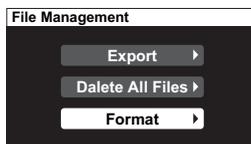
- Service (45ページ)



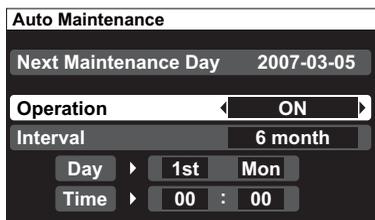
- Auto Maintenance (43, 44ページ)



- File Management (42ページ)



- Auto Maintenance (Change a day)



ランプ表示とメモリーカードレコーダーの状態

ランプの点灯・点滅・消灯状態とメモリーカードレコーダーの状態の関係を以下の表に示します。

- ：点灯 ○：通常点滅 ○：消灯 ●：高速点滅（1秒間に約3回点滅）
- ：消灯が短く点灯が長い点滅

ランプの表示			メモリーカードレコーダーの状態
REC (赤色)	READY (緑色)	BUSY (赤色)	
●	●	●	電源がONされた直後の状態
○	●	●	メモリーカードレコーダーの起動処理中
○	●	○	ライブ画面表示中
●	●	●	通常記録中*1
●	●	●	間けつ記録中*1
○	●	●	ポスト記録中
○	●	○	記録停止状態で、管理者設定画面表示中 (P2カードアクセスなし)
○	●	●	記録停止状態で、管理者設定画面表示中 (P2カードアクセスあり)
○	○	●	再生中
○	○	●	・メモリーカードレコーダーの終了処理中 ・P2カードの開始処理中(挿入時などの認識処理) ・P2カードの停止処理中(P2カードスロットカバーを開いたとき)
●	●	●	メモリーカードレコーダーのファームウェアアップデート中
●	●	●	メモリーカードレコーダー／本機のマイコンアップデート中
●	●, ●, ○のいずれか		ライブ画面表示中に記録操作に対してエラーが発生*2
○	○	○	・メモリーカードレコーダーのP2カードスロットカバーが開いた状態 ・P2カードが挿入されていないか、または確認できない状態 ・P2カード残容量がない状態 ・P2カードの書き込み禁止スイッチが「PROTECT」側になっている状態

*1 P2カード残容量が少ない(約30分以下)とき、もしくは記録ファイル数が1900(最大2000まで)を超えたときは、[REC]ランプは通常点滅します。

*2 エラーがP2カードの状態に関係する場合、エラー内容はOn Screenのステータス表示に示されます。23ページの「メモリーカードレコーダーの状態を表示する」を参照してください。

お知らせ：

- ・[REC] ボタンを押したり記録トリガー入力されても、記録を開始できないときには、[REC]ランプが高速点滅します。
- ・メモリーカードレコーダーのP2カードスロットカバーを開けたり閉じたりした直後のP2カードアクセス中は、[BUSY]ランプが点滅します。

修理を依頼される前に

修理を依頼される前に、下記の項目を確かめてください。これらの処置をしても直らない場合や以下に記されていない症状の場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

■電源

症 状	対応内容
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">・コントロールパネルケーブルは正しく接続されていますか。接続を確認してください。
電源が自動的に切れる	<ul style="list-style-type: none">・車載でご使用の場合、[電源OFF時間(PowerOff Time)] を設定して (34ページ参照)、エンジンスイッチをLOCK (OFF) で使用していませんか。エンジンスイッチをONにして再度起動してください。(15ページ参照)・メモリーカードレコーダーを動作周囲温度以上の高温でご使用の場合、安全のため電源がOFFする場合があります。周囲温度が下がった状態でご使用ください。

■操作

症 状	対応内容
制御を受け付けられないなど、異常状態になった	<ul style="list-style-type: none">・フロントパネルの [REC] ボタンと [STOP] ボタンを約10秒間同時に押してメモリーカードレコーダーのリセットを行ってください。ランプ全消灯 (1 ~ 2秒) の後、全点灯 (1 ~ 2秒) を行い、リセット受け付けを表示します。
メモリーカードレコーダーの再起動操作をしていないのに再起動される	<ul style="list-style-type: none">・P2カードへアクセス中にP2カードを取り出すと ([BUSY] ランプが点灯中)、P2カードスロットが使用できなくなることがあります。このときメモリーカードレコーダーは自動的に再起動され、P2カードが使用できるようになります。・自動メンテナンスの設定が “ON” の場合、設定している周期に従って再起動を行います。

修理を依頼される前に (つづき)

■記録

症 状	対応内容
記録を開始できない	<ul style="list-style-type: none">• メモリーカードレコーダーのP2カードスロットにP2カードは入っていますか。• メモリーカードレコーダーのP2カードスロットカバーを閉じていますか。• P2カードに残容量はありますか。残容量の確認を行い、ファイルのアップロードなどの後、空き領域を確保してください。• P2カードの書き込み禁止スイッチが「PROTECT」側になっていませんか。• GPIO/SERIALポートや記録トリガー条件は正しく設定されていますか。

エラーメッセージ

番号	メッセージ	対応
E02431	DSP error. Reproduction and record cannot be performed.	エラーメッセージの表示が消えるまで、しばらくお待ちください。1分待っても消えない場合には、お買い上げの販売店にご相談ください。
E02432		
E02440	System error Couldn't format P2 cards.	別のP2カードに交換してください。
E02441	Couldn't format P2 cards.	
E02442	Found read only P2 cards. Couldn't format.	P2カードの書き込み禁止スイッチを解除してください。
E02443	Not P2 card. Couldn't format.	P2カード以外のカードが挿入されています。P2カードに交換してください。
E02444	No card. Couldn't format.	P2カードを挿入してください。
E02460	System error Couldn't delete files.	お買い上げの販売店にご相談ください。
E02461	Couldn't delete files.	
E02470	System error Couldn't restore files.	
E02471	Couldn't restore files.	
E02481	Write error on slot1. Record cannot be continued.	正しい手順でP2カードの取り出し／挿入を行ってください。P2カードスロットカバーを閉じた後にP2カードが正常に認識できない場合は、P2カードを交換してください。
E02482	Write error on slot2. Record cannot be continued.	
E07671	Camera communication error. Camera cannot be controlled.	カラーカメラが正しく接続されていない可能性があります。カラーカメラとカラーカメラに付属のカメラケーブルが正しく接続されていることを確認してください。それでもエラーが発生する場合には、お買い上げの販売店にご相談ください。
E08601	Lid open. Reproduction and record cannot be performed.	P2カードスロットカバーを閉じてください。
E08602	The recorder's fan has stopped.	お買い上げの販売店にご相談ください。
E10400	Radar model file not found.	
E10401	More than five radar model files found.	
E10402	Invalid radar model file found.	
E10403	Radar model file read error.	
E10410	Radar communication error. Please check the radar setting.	

エラーメッセージ (つづき)

番号	メッセージ	対応
E20801	The recorder reboots by unrecoverable card ejection error.	正しい手順でP2カードの取り出し／挿入を行ってください。
E20802	The recorder reboots by unrecoverable card insertion error.	
E20803	Card is not ready. Please try to reinsert the card, or Reboot from Menu.	P2カードを確認して再挿入を行うか、メモリーカードレコーダーを再起動してください。
E22420	Officer's information file cannot be loaded.	使用者データファイル(wid****.txt)の内容が正しくありません。正しい使用者データファイルを作成し、USBメモリーに保存後、再登録してください。
E22421	Since you are not an administrator, you cannot open this menu.	管理者として登録されていません。登録されている管理者で再操作してください。
E22422	Officer's information file cannot be loaded.	使用者登録ファイルがない、もしくは記述内容が誤っています。正しい使用者登録ファイル (wofficer.txt) をUSBメモリーにコピーし、再登録してください。
E22423	Admin's information file cannot be loaded.	管理者登録ファイルがない、もしくは記述内容が誤っています。正しい管理者登録ファイル (wadmin.txt) をUSBメモリーにコピーし、再登録してください。
E22424	Officer's information cannot be setup during record !	使用者データは記録中に変更できません。記録を停止し、再操作してください。
E22620	Couldn't start auto maintenance	自動メンテナンスは、P2カードスロットカバーが開いた状態もしくは、記録中などの状態だったため実行されていません。
E25410	GPS communication error. Please check the GPS module.	GPSオプションに異常が発生しました。お買い上げの販売店にご相談ください。
E28201	A capacity of USB strage is not enough to export.	空き容量がある別のUSBメモリーと交換してください。
E28202	Export completed Restore file remained.	未修復のファイルを修復後、再度エクスポートを実行してください。
E28203	File not found in P2 cards.	エクスポートするファイルがないので、エクスポート操作する必要はありません。
E28400	No USB storage devices. Couldn't start export.	USBメモリーを接続してください。
E28401	Found read only P2 cards. Couldn't start export.	P2カードの書き込み禁止スイッチを解除してください。
E28402	All USB storages are read only. Couldn't start export.	書き込み可能なUSBメモリーを接続してください。

エラーメッセージ (つづき)

番号	メッセージ	対応
E28403	Media error. Export incompleated.	P2カードもしくはUSBメモリーを交換してください。
E28404	USB storage file system error. Couldn't start export.	USBメモリーを交換してください。
E28405	USB storage write error. Export incompleated.	
E28406	Found update file in USB storages. Couldn't start export.	USBメモリー内にあるバージョンアップファイルを削除してください。
E28407	No P2 cards. Couldn't start export.	記録済みのP2カードを挿入してください。
E28499	System error. Export incompleated.	メモリーカードレコーダーを再起動してください。
E28880	USB storage was ejected. Export incompleated.	エクスポート中にUSBメモリーを抜かないでください。再度USBメモリーを接続し、エクスポートを実行してください。
E28881	USB storage was inserted. Export incompleated.	再度エクスポートを実行してください。

ステータス表示

ステータス表示はP2カードとメモリーカードレコーダーの動作の状態をメッセージで表示します。それぞれのエラー内容に応じて対応してください。

ステータス表示	対 応
CARD FULL	P2カードに残容量がありません。空き容量があるP2カードと交換するか、空き容量を確保してください。
CARD PROTECT	P2カードの書き込み禁止スイッチが「PROTECT」側になっています。書き込み禁止スイッチを解除してください。
VUP CARD	バージョンアップ用P2カードには書き込みできません。バージョンアップ用以外のP2カードに交換してください。
UNFORMATTED	フォーマットされていないP2カードです。フォーマットされたP2カードと交換してください。
ILLEGAL CARD	<ul style="list-style-type: none">• 使用できないカードが入っています。カードの種類を確認してください。• 認識できないP2カードが入っています。使用できるP2カードと交換してください。• P2カードが正しく挿入されていません。正しい手順でP2カードの取り出し／挿入を行ってください。
NO CARD	P2カードが入っていません。P2カードを挿入してください。
READ ERROR	読み込みエラーが発生しました。ファイルの再生ができないか、付属情報が正しく表示できません。
META ERROR	付属情報ファイルが存在しません。付属情報が表示できません。
PLAY ERROR	デコーダ異常が発生しました。再生ができません。メモリーカードレコーダーを再起動してください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

故障・修理・お取扱い
などのご相談は、まず、
お買い上げの販売店
へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社(裏表紙)までご連絡ください。
※ 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますのでご了承ください。

■保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取りください。内容をよくお読み頂いた上、大切に保存してください。万一、保証期間内に故障を生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品

当社では、コントロールパネルの補修用性能部品を、製造打ち切り後、6年間保有しています。
※ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■保守・点検

保守・点検は機器の機能を常に良好な状態に維持し、お客様が安心してご使用していただくためのものです。部品の劣化、ごみ、ホコリの付着などにより突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能の維持のために、定期的な保守・点検を推奨いたします。保守・点検(有料)についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

修理を依頼される時

この取扱説明書を再度ご確認の上、お買い上げの販売店までご連絡ください。

◆保証期間中の修理は..

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

◆保証期間経過後の修理は..

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容	
品名	コントロールパネル
品番	AG-RCP30
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

定格

電源	: DC12 V
入力電流	: 0.4 A

は安全項目です。

動作周囲温度 : 0 °C ~ 45 °C
動作周囲湿度 : 10 % ~ 80 % (結露なし)
質量 : 500 g
外形寸法 (幅×高さ×奥行き) : 171 mm × 107 mm × 28 mm
液晶パネル : 3.5型LCD
駆動方式 : ポリシリコンTFT
 アクティブマトリックス方式
画素 : 220 (垂直) × 320 (水平) × 3 (RGB)
スピーカー出力 : 0.5 W
スピーカー : 28 mm丸型1個
接続端子 : 電源 / 制御信号入出力 / AV入力
 (12ピン丸型コネクター)

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。



この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

松下電器産業株式会社 システム事業グループ

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎ (06) 6901-1161

© 2006 Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. (松下電器産業株式会社) All Rights Reserved.

T